

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成25年度実施事業)

平成26年12月
遠野市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	教育委員会の活動	1
	(1) 遠野市教育委員会委員名簿	1
	(2) 教育委員会の会議の開催状況	1
	(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況	1
	ア 教育委員会定例会・臨時会	1
	(4) 教育委員会の会議以外の活動状況	4
3	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価	7
	(1) 政策別実施事業の成果と課題	8
	ア 健康づくりの推進	8
	イ ふるさと教育の推進	9
	ウ 生涯学習の推進	21
	エ ふるさとの文化の継承・創造	23
	(2) 平成25年度に実施した事務事業の点検及び評価	24
	ア 点検及び評価の概要	24
	イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価	24
	ウ 平成25年度に実施した82事務事業の点検及び評価	26
	エ 外部評価の結果	26

○資料編

【資料1】	平成25年度総合計画後期基本計画まちづくり指標 (教育委員会19指標)実績一覧表	31
【資料2】	平成25年度事務事業成果説明書(教育委員会82事務事業)	32

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成25年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、この報告書では、平成26年9月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」のうち教育委員会に係る部分についても、抽出して取りまとめています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動

(1) 遠野市教育委員会委員名簿（平成26年3月31日現在）

職名	氏名
委員長	中 浜 艶 子
委員長職務代理者	角 田 直 樹
委員	三 浦 芳 昌
委員	馬 場 明 子
委員（教育長）	藤 澤 俊 明

(2) 教育委員会の会議の開催状況

平成25年度は、教育委員会定例会を毎月1回（計12回）及び教育委員会臨時会を3回、合計15回の会議を開催しました。

(3) 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び遠野市教育長に対する事務委任規則（平成17年遠野市教育委員会規則第7号）第2条に規定する事項のうち、平成25年度において教育委員会定例会及び臨時会（15回の会議のうち13回）で審議した案件は、19件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	1
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	3
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	—
5	職員の人事異動の方針を定めること	2
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	4
7	附属機関の委員の任免に関すること	4
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	2
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		19

【平成25年度教育委員会会議議案一覧】

議案番号	件 名	提出日	決議	分類
平成25年4月定例会				
19	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成25年4月26日	承認	7
20	遠野市就学指導委員会委員の任免の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成25年4月26日	承認	7
21	遠野市指定文化財の一部指定解除に関し議決を求めることについて	平成25年4月26日	可決	8
平成25年6月定例会				
22	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成25年6月26日	可決	7
平成25年7月定例会				
23	平成26年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成25年7月26日	可決	3
24	平成26年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成25年7月26日	可決	3
平成25年度8月定例会				
25	平成25年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成25年8月26日	可決	9

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成25年9月定例会				
26	遠野市就学指導委員会委員の委嘱・任命に関し議決を求 めることについて	平成25年 9月27日	可決	7
平成25年11月定例会				
27	平成26年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針 に関し議決を求めることについて	平成25年 11月22日	可決	5
28	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めること について	平成25年 11月22日	可決	6
平成25年11月臨時会				
29	遠野市教育委員会教育長の人事に関し議決を求めること について	平成25年 11月26日	可決	6
平成25年12月定例会				
30	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることにつ いて	平成25年 12月25日	可決	10
平成26年1月定例会				
1	平成26年4月1日付け定期人事異動の基準等（事務局職 員等）に関し議決を求めることについて	平成26年 1月28日	可決	5
平成26年2月定例会				
2	平成26年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を 求めることについて	平成26年 2月19日	可決	1
3	平成26年度学校給食費の額に関し議決を求めることにつ いて	平成26年 2月19日	可決	3
平成26年2月臨時会				
4	平成26年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求め ることについて	平成26年 2月28日	可決	6
平成26年3月臨時会				
5	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めること について	平成26年 3月19日	可決	6
平成26年3月定例会				
6	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の 制定について	平成26年 3月25日	可決	2
7	遠野市指定天然記念物の指定解除に関し議決を求めるこ とについて	平成26年 3月25日	可決	8

(4) 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記の会議のほか、以下のとおり各種行事等に出席しました。

○ 市議会

- ・本会議（委員長及び教育長）
- ・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

○ 学校訪問

- ・学校懇談会（7月：遠野中学校、9月：遠野東中学校、12月：遠野西中学校）
- ・学校公開研究会（6月：遠野北小学校、11月：達曾部小学校）
- ・遠野まると給食（9月、10月、11月、計3回）

○ 各種行事等（主なもの）

- ・平成25年4月1日付け教育委員会定期人事異動辞令交付式（4月）
- ・小・中学校新任教職員及び転任教職員辞令交付式（4月）
- ・小学校入学式（4月）
- ・中学校開校式及び入学式（4月）
- ・総合食育センター開所式（4月）
- ・研究指定校説明会（4月）
- ・奨学生選考会（4月）
- ・遠野市教育研究所運営委員会（4月、11月、2月）
- ・学校保健会定期総会（4月）
- ・遠野市芸術文化協会総会（4月）
- ・遠野市少年委員協議会総会（4月）
- ・特別支援教育推進会議（5月）
- ・教科書採択会議（5月）
- ・就学指導委員会（5月、6月、10月、11月）
- ・遠野市教育研究会研修会（5月）
- ・市内小学校運動会（5月）
- ・市内中学校体育祭（5月）
- ・遠野市スポーツ少年団本部総会（5月）
- ・遠野市生徒指導推進協議会総会・研修会（5月、11月）
- ・学力向上対策会議（6月、11月、2月）
- ・学力向上研究員部会・社会科副読本部会（6月～12月・6回）
- ・各町町民運動会（6月）
- ・岩手県青少年劇場（6月）
- ・租税教室推進協議会定期総会（6月）
- ・学校公開研究会（6月、11月）
- ・遠野市地域教育協議会連絡会（7月）

- ・要保護児童対策地域協議会（7月）
- ・学校懇談会（7月、9月、12月）
- ・平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町との児童交流」（7月受入・8月派遣）
- ・JFA・キリンスマイルフィールド（7月）
- ・中総体県大会サッカー競技開会式（7月）
- ・遠野わらすっこまつり（7月・中止）
- ・市内小学校水泳記録会（7月）
- ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」（8月～10月、11校）
- ・大府市小学生都市間交流事業（8月）
- ・日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン大会（8月）
- ・遠野市中学校陸上競技記録会（8月）
- ・校長会三役との懇話会（8月、11月）
- ・わたしの主張遠野大会（9月）
- ・中学校総合体育大会新人大会（9月）
- ・市小学校陸上記録会（9月）
- ・遠野まるごと給食（9月、10月、11月）
- ・市制施行8周年記念功労者表彰式（10月）
- ・子育て支援センター「まなざし」設立10周年記念行事（10月）
- ・教育文化振興財団合併1周年記念講演会（10月）
- ・市内一周継走大会（10月）
- ・小学校学習発表会、中学校文化祭（10月、11月）
- ・市内小学校音楽祭（10月）
- ・遠野食育センターグランドオープン（11月）
- ・遠野地区中学校総合文化祭（11月）
- ・小友小学校開校30周年記念式典（11月）
- ・ことばの教室校外学習発表会（11月）
- ・遠野市地域教育協議会連絡会（11月）
- ・市民囲碁まつり（11月）
- ・遠野ユネスコ協会「わたしの町のたからもの」絵画展表彰式（12月）
- ・元気わらすっこ暖らん会（12月）
- ・市民新年交賀会（平成26年1月）
- ・遠野市中学生海外派遣交流事業・結団式（平成26年1月）
- ・成人式「はたちのつどい」（平成26年1月）
- ・教育研究所研究発表会（平成26年1月）
- ・遠野市教育文化振興財団顕賞式（平成26年2月）
- ・保育のつどい（平成26年2月）
- ・市内中学校環境科学発表会（平成26年2月）
- ・遠野市学校保健会研究大会（平成26年2月）
- ・中学生海外派遣交流事業報告会（平成26年2月）

- ・遠野市民スキー大会（平成26年2月）
- ・文化財保護審議会（平成26年3月）
- ・小・中学校卒業証書授与式（平成26年3月）
- ・教育委員会退職者等辞令交付式（平成26年3月）

○ その他の行事（主なもの）

- ・遠野市老人クラブ連合会総会（4月）
- ・遠野市芸術文化協会総会（4月）
- ・八戸市大館地区の新田城まつり運営委員会との交流会（5月）
- ・遠野市PTA連合会定期総会（5月）
- ・ときめらの会総会（5月）
- ・「いっぽいっぽの会」総会（6月）
- ・岩手県民体育大会選手団結成式（6月）
- ・社会を明るくする運動遠野地区大会（7月）
- ・遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会（7月）
- ・遠野市少年消防クラブ防火野球大会（8月）
- ・遠野市戦没者追悼・平和祈念式（8月）
- ・遠野市総合防災訓練（9月）
- ・交流市町村との交流会（10月）
- ・遠野市産業まつり（10月）
- ・遠野市郷土芸能共演会（11月）
- ・遠野小学校にぎやかコンサート（11月）
- ・市民の舞台・遠野物語ファンタジー旗揚げ会（12月）
- ・市婦協歳末助け合い演芸大会（12月）
- ・赤羽根スキー場安全祈願式（12月）
- ・遠野市長杯争奪遠野市少年少女空手道選手権大会（12月）
- ・遠野市消防出初式（平成26年1月）
- ・地域で子どもを育てる活動発表会（平成26年1月）
- ・清養園氷上まつり（平成26年2月）
- ・遠野物語ファンタジー（平成26年2月）

3 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価

遠野市教育委員会は、遠野市の行政の基本方針である「遠野市総合計画後期基本計画」（平成22年11月策定）に基づき、教育行政を推進しています。

教育委員会は、下図に示す「遠野市総合計画後期基本計画」の体系において、2つの大綱及び4つの政策にかかわっています。

この4つの政策ごとに、平成25年度における実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画後期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大 綱	政 策	施 策	
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり		
	2 快適な居住環境の形成		
	3 道路交通基盤の充実		
	4 安心安全な地域づくり		
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進（スポーツ）	
		2 医療体制の充実	
	2 地域福祉の充実		
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興		
	2 商工業の振興		
	3 観光と交流のまちづくり		
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実	
		2 学校教育の充実	
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実	
		2 芸術文化活動の推進	
	3 ふるさとの文化の継承・創造		1 郷土文化の保存と活用
			2 文化財の保存と継承
		3 郷土の文化を生かした地域創造	
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり		
	2 行財政基盤の強化		
	3 行政サービスの向上		

(1) 政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

■総括

- 子どもから高齢者まで幅広い世代の市民一人一人が、身近な施設を拠点として、生涯にわたって日常的にスポーツに親しむことのできる健康・生涯スポーツ社会の実現を目指し、各種スポーツ教室の実施、学校体育施設の開放、市体育協会との連携による各種市民スポーツ大会の開催など、生涯スポーツの普及及び振興に努めました。
- 市民の健康づくり活動においては、遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」を中心に、子どもから高齢者まで幅広く、日常的に生涯にわたってスポーツに親しむことを目指し、地域の実情に応じた健康づくりやスポーツに関する教室、講座等を多数開催しました。
- 遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部の運営補助を通じ、競技スポーツ及び少年スポーツの推進や競技力の向上に努めるとともに、チャレンジ徒歩通学を継続して実施し、子どもの生活習慣の改善や体力の向上に努めました。また、「キッズ元気アップ応援隊」を実施し、就学前の幼児の体力及び運動能力の向上に努めました。

■成果と課題

事業	成果	課題
健康づくり活動の推進		
健康スポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」は、市民センターを本校とし、スポーツ、保健、生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践。市内9地区センターをサテライト校とし、地域の実情に応じた健康づくり活動を実践し、市民の健康づくりに関する意識が高まってきている。 ○本校…健康づくり教室119回実施 ○サテライト校…健康づくり教室58回実施 市内全小学校を対象にチャレンジ徒歩通学を継続して実施したことにより、児童の生活習慣は改善傾向にある。 市内13保育園へ「キッズ元気アップ応援隊」の講師を派遣したことにより、小学校就学前の幼児に様々な運動を体験させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室への参加者を増やすための取組をさらに充実させていく必要がある。 子どもの体力の向上のため、学校、地域、保護者、行政等が連携し、さらに取組を推進していく必要がある。

事業	成果	課題
スポーツ振興		
競技・イベントスポーツプログラム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会、スポーツ少年団等の活動を支援するとともに、関係団体と連携して各種スポーツ大会等を開催し、競技力の向上に努めた。 遠野じんぎすかんマラソンを開催し、運動することの基本となる走ることの推進ができた。沿道での応援があり、走るだけでなく、「見る・応援する」ことでのスポーツ参加ができた。 	<p>技力の向上を推進するため、学校スポーツと社会スポーツとの連携をさらに強めていく必要がある。</p>

イ ふるさと教育の推進

(7) 就学前教育の充実

■総括

- 遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」に基づき、社会福祉法人遠野市保育協会等の関係機関・団体、保護者、地域住民等、学校関係者及び事業者との連携を図りながら、社会全体で子育てを支援する環境づくり及び児童福祉を推進しました。
- 多様化する保育のニーズに応えるため、通常の保育所における保育に加え、一時保育サービスや休日保育、病児病後児保育など、細やかな保育を実施しました。
- 学校等の関係機関との連携を図りながら、特に配慮が必要な子どもの早期発見、早期対策を講じ、子どもの権利侵害に対する問題の解決に努めました。

■成果と課題

事業	成果	課題
幼児教育・保育の向上	宮守町内の高齢者施設・身体障がい者支援施設の訪問、町内の高齢者との交流、中高生の体験学習やボランティアの受入れ等を行うことで、園児の情操教育の向上や世代間交流を図ることができた。	訪問・受入れともに、実施時期や感染症の有無の事前調査等について配慮する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 園児と小学生との交流を行い、幼稚園及び小学校の相互連携を図った。 小学校教諭と幼稚園教諭等とが、保育参観や授業参観を相互に実施し、情報交換を行うことにより、互いの状況を把握し、小学校入学後における児童の円滑な指導につなげることができた。 	今後も、就学前教育のあり方、指導の方向性等について学校側との協議や情報交換を行う場を設け、さらなる連携を図っていく必要がある。

	キッズ運動教室を開催したことにより、遊びを通して体を動かすことの楽しさを伝えることができた。	毎日の遊びの中で体を動かしているが、幼児の体力を更に向上させるため、定期的に体を動かす機会を設ける必要がある。
	野菜栽培等や、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児の食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。	食事の大切さを幼児に伝えるには、幼稚園・保育所における指導に加え、家庭の協力や意識づけが不可欠である。
	幼児教育に携わる幼稚園教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、年間を通じた研修を実施した。	今後も、教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、各種研修を実施し、研究を深める必要がある。
保育教育環境の整備	各市立幼稚園・保育所の修繕等を行い、幼児の教育環境の整備を図った。	各幼稚園・保育所の環境整備に係る短期的・長期的な計画が必要である。
芸術・文化活動	地域のまつり等への参加を通して、幼児が芸術・文化に触れるとともに、実際に携わる機会の確保に努めた。	今後も、幼児の情操教育の向上を図るため、優れた芸術・文化に触れる機会の確保に努める必要がある。

(イ) 学校教育の充実

■総括

「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」を学校教育目標に掲げ、「学習や生活の基礎力の定着」「豊かな心の育成」「心身ともに健康でたくましい子どもの育成」の3つの視点のもと、「学力向上の推進」「特別支援教育の充実」「豊かな心を育む教育の推進」「特色ある学校づくりの推進」「学校経営の質的向上」の5つを取組の重点として、各学校との共通理解と相互連携のもと、各種事業を積極的に推進しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
学力向上の推進（教育研究所事業、学力向上スタートダッシュ事業を含む。）		
学力向上の体制づくり	<p>昨年度までは教科指導を中心とした研究であったが、今年度からは新設した3つの中学校区ごとに小・中学校が連携し、義務教育9年間を見取る体制を構築した。</p> <p>また学力向上の柱を授業改善とし、中学校区ごとに2つの視点を設定・共有し、各校研究主任等を中心に研究員部会を開催し、その成果を教育研究発表会等において発表し、市内全教職員に還元した。</p> <p>市内全教職員が作成した指導案及び授業改善実践記録をデータベース化し、その全てを配布することにより、授業改善のための資料として蓄積できるように改善した。</p>	<p>今年度から始めた取組を市内全教職員に周知徹底し、継続的な取組・研究をさらに充実させていく必要がある。</p>
学力向上対策会議	<p>今年度から、各中学校区の研究員部会部会長（副校長1名）、各校教務主任及び研究主任を対象とした会議として見直した上で、年3回開催した。</p> <p>各中学校区の実情と課題を確認した上で学力向上を図るため、年間を通して「計画→実行→評価→見直し」のPDCAサイクルを試行することができた。</p>	<p>授業改善等のための課題・視点・指導方法等の共通認識の場として、次年度以降も継続して開催していく必要がある。</p>
学力検査等	<p>NRT（標準学力検査）及び知能検査（ともに4月実施）及び学習定着度調査（国：4月実施、県：10月実施）の結果を分析し、各校への助言・指導を行ったことで、各教科における学力の実態に基づいた指導が行われ、児童・生徒の基礎学力の定着を図る一助とすることができた。</p>	<p>各調査の結果に基づき、各学校において補充指導及び個別指導等を充実させ、児童・生徒の学力の向上につなげていく必要がある。</p>
教育研究指定校事業	<p>遠野北小学校及び達曽部小学校で学校公開研究会を開催するとともに、附馬牛小学校、青笹小学校及び宮守小学校を研究校に指定した。</p> <p>学校公開研究会の実施により、それぞれの研究の成果を他の小・中学校に還元することができた。</p>	<p>学校の自主性をより高めしていく必要がある。</p> <p>また、研究成果を各中学校区で広く還元するため、参加体制等について検討する必要がある。</p>
学校教育専門員配置事業及び指導主事の派遣	<p>各校からの要望に応じて、学校教育専門員1名を67回、指導主事2名を91回派遣し、教師の授業力の向上及び校内研究の充実を図った。</p>	<p>学校教育専門員について算数・数学に限定せず、校内研究の進め方等においても活用を図る必要がある。</p>
外国人講師招へい事業	<p>小学校11校及び中学校3校に外国人講師を計281回派遣し、児童のコミュニケーション能力、生徒の英語力の向上及び児童・生徒の国際理解教育の充実を図ることができた。</p>	<p>小学校5・6年において実施する外国語活動において、より一層外国人講師の活用を図る必要がある。</p>

幼稚園・保育所(園)・小学校交流会	幼稚園教諭、保育士及び小学校の教諭が相互の情報交換を行うため、全体で1回、また小学校区ごとに1回以上交流会を開催し、児童に対する教育の共通課題を確認するとともに、行動等について気になる点のある児童への指導のあり方について理解を深めることができた。	小学校区ごとに行っている交流会の内容を紹介するなど、交流のあり方についての情報交換の場が求められる。
-------------------	---	--

事業	成果	課題
特別支援教育の充実		
特別支援教育推進事業	個別に支援を必要とする通常学級に在籍している児童・生徒のため、特別支援教育支援員を14名配置し、生活上の介助、学習上の支援等を行った。 また、特別支援教育支援員を対象とした研修会を開催し、支援員のスキルアップを図った。 別室登校など個別に支援を必要とする児童・生徒の学校生活上の相談、適応支援教室での指導等を行うため、教育相談員4名(教育研究所1名、中学校区3名)を配置した。 県立花巻清風支援学校遠野分教室(小・中)、保育所(園)・幼稚園、市保育協会、子育て総合支援センターなど関係機関との連携を図り、特別支援教育と就学指導の推進を図った。 市の独自事業として実施している巡回ことばの教室を継続して行い、対象児童らの言語の障がいについて、改善を図ることができた。	通常学級に在籍している特別な支援を必要とする児童・生徒についても、個別の指導計画を作成し、継続的な支援を行う体制を整えていく必要がある。
就学指導委員会	個別に教育上の支援が必要であると思われる就学前児童・児童・生徒に対し、必要に応じて知能検査や各種教育相談等を行った上で、望ましい就学先を判断する就学指導委員会を4回(定例3回、臨時1回)開催し、対象となった就学前児童・児童・生徒の適正な就学支援を行うことができた。	就学前児童について、関係機関・団体と、さらなる連携強化を図り、望ましい就学支援につなげていく必要がある。

事業	成果	課題
豊かな心を育む教育の推進		
道徳地区公開講座	すべての小・中学校において、道徳の授業を保護者や地域の方々に公開し、児童・生徒の道徳心の向上を図ることができた。	今後も事業を継続し、児童・生徒の道徳心の向上を図っていく必要がある。

遠野わらすっこ「夢の教室」事業	公益財団法人日本サッカー協会が取り組む『JFAこころのプロジェクト「夢の教室」』（プロスポーツ選手等が夢を持つことの大切さや夢に向かって努力することの大切さを児童に語る授業を行う。）を、小学校5・6年生を対象として11校で計13回実施し、児童が自分の夢について真剣に考える機会を提供するとともに、個性を持った仲間とお互いを大事にしあいながら助け合うことの大切さ等について学んだ。	児童・生徒の心身の健全な発達に資する事業として各学校に定着してきていることから、今後も事業を継続していく必要がある。 また、事業を一過性のイベントとして終わらせることがないようキャリア教育等として位置付ける等の工夫が必要である。
文化行事奨励（小・中学校）事業	小学校音楽教育協議会及び中学校文化連盟に事業費補助を行い、児童生徒の文化活動を通じた健全育成を推進した。 市内小・中学校児童生徒作品展（絵画・書道）の実施により、児童・生徒の感性や情緒面の伸長に寄与することができた。 各小・中学校から推薦された作文等を、文集「遠野」にまとめ発行した。	児童・生徒一人一人の作品の質をより高める指導のあり方について検討を重ねる必要がある。
平成・南部藩寺子屋交流事業	市内小学校から24名の児童が参加し、受入・派遣交流を通じて、根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市、同七戸町の歴史や文化を学ぶとともに、両市町の児童との絆を深めることができた。	昭和62年度から継続して実施しているが、各小学校の児童数が減少傾向にあることから、参加児童数の見直しについて検討していく必要がある。
体育行事奨励（小・中学校）事業	小学校体育協会及び中学校体育連盟が主催する地区大会の開催等に対する支援を行った。また、中学校体育連盟が主催する県・東北・全国大会出場選手等への派遣補助を行う等、体育活動を通して小・中学生の健全育成に寄与した。	小・中学生の心身の健全育成を図るため、今後も支援を継続していく必要がある。
いわての復興教育学校支援事業	遠野小学校を推進校として指定し、復興教育の視点で、従来の教育活動を見直すとともに充実を図ることができた。 また、教育研究発表会において実践をまとめた資料を配布し、事業成果を市内全教職員に還元することができた。	県との委託契約により、財源を確保している事業なので、仮に県予算が見込めない場合でも、事業を継続していける体制を検討する必要がある。
道徳教育総合支援事業	指定校の小友小学校では、校内授業研究会や研修会を通して、研究を深めることができた。 いわての復興教育の教育的価値の具現化を構想した指導計画を作成したことにより、各教科等との関連を図ることができた。 実践の成果は、パンフレット等により情報発信し、各学校に普及・還元することができた。	国からの指定により、財源を確保している事業なので、国予算が見込めない場合でも、事業を継続していける取り組み方を検討する必要がある。

事業	成果	課題
特色ある学校づくり		
特色ある学校づくり事業	すべての小・中学校が、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かし、農業体験、郷土芸能などの地域理解学習に取り組んだことにより、学校、地域及び家庭の連携が図られるとともに、児童・生徒が自らの郷土に対する理解と愛着を深めることができた。	総合的な学習の時間に関し、年間指導計画の見直しを図ることが必要である。 また、新設3中学校では新しい伝統をつくるためさらなる支援の必要がある。

事業	成果	課題
学校経営の質的向上		
学校懇談会	新設3中学校において懇談会を開催し、それぞれの学校の取組状況に関し、教育委員会委員及び事務局職員と学校の教職員とが意見交換を行った。	できる限り学校に負担がかからないような開催方法を検討する必要がある。
学校評価	すべての小・中学校において、教職員による内部評価及び保護者、児童生徒、学校関係者による外部評価を実施し、その結果をまとめ、公表した。	学校経営に外部評価の結果がより効果的に還元されるよう、評価の方法等について、さらに見直しを図っていく必要がある。

(7) 教育環境の充実

■総括

- 平成25年4月1日に遠野中学校、遠野東中学校、遠野西中学校の3校を新たに設置し、中学生にとってよりよい教育環境を整備するため、各校舎等の改築整備を行い教育環境の整備を行いました。
- 情報教育の推進を図るため、パーソナルコンピュータの更新を行うとともに、理科教育設備や教材備品等の整備を図り、教育環境の充実に取り組みました。

■成果と課題

事業	成果	課題
学校施設の整備		
遠野小学校屋内運動場改築整備事業	旧屋内運動場解体工事が平成25年9月13日に完了し、昨年度の屋内運動場改築工事と併せ遠野小学校の教育環境の整備を図った。 旧屋内運動場解体工事 12,915,000円 舞台幕設置工事外付帯工事 2,538,900円 備品購入等 3,809,850円	小学校施設の環境整備が図られたことから、今後は関係課と連携し一体的な子育て環境整備（旧屋内運動場跡地に児童館建設）を進める必要がある。

<p>綾織小学校学びのプラットフォーム整備事業費 (繰越明許費)</p>	<p>実施計画に基づき、旧綾織中学校の普通教室等校舎の一部を、音楽室、理科室及び家庭科室並びにパソコン教室等の特別教室に改修するとともに、校庭にはブランコやジャングルジム等の遊具を設置し、教育環境の一体的な整備に努めた。</p> <p>特別教室棟改修工事 54,509,700円 うち建築工事 34,818,000円 うち機械工事 19,691,700円 工事監理業務 1,680,000円 備品購入 2,917,556円 他</p>	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>遠野中学校改築整備事業費</p>	<p>旧校舎を解体し、2ヶ年の継続事業として校舎改築（第2期）工事に着手し、基礎工事を進めた。（進捗率17%）</p> <p>また、倉庫・駐輪場建築工事を行い、教育環境の整備に努めた。</p> <p>旧校舎解体 3,878㎡ 旧校舎改築工事・倉庫 駐輪場建築工事 鉄骨造 119.24㎡ 駐輪場（385台分） アスファルト舗装 110㎡ 天然芝舗装 973㎡ 植栽等 事業費 110,699,800円</p>	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>遠野東中学校整備事業費</p>	<p>外構工事及びソフトテニスコートを整備し、教育環境の整備に努めた。</p> <p>なお、倉庫・駐輪場建築工事は、再生可能エネルギー設備導入事業を活用し、太陽光パネルを屋根に積載するため仕様変更を行ったことにより入札発注時期が遅れたため、平成26年度に繰り越した。</p> <p>外構工事 バス待機所アスファルト舗装</p> <p>ソフトテニスコート整備 事業費 2,874,200円</p>	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>

<p>遠野西中学校整備事業費</p>	<p>校外学習及びクラブ活動等に活用するため中庭の一部をアスファルト舗装し、教育環境の整備に努めた。</p> <p>また、旧宮守学校給食センターを多目的教室棟に改修するため耐震診断を実施し、実施設計業務を委託した。</p> <p>なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度事業を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。</p> <p>耐震診断 実施設計業務委託 中庭整備 アスファルト舗装 510㎡ 事業費 5,950,350円</p>	<p>建物を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>プール改修事業費</p>	<p>事業計画に基づき、鱒沢小学校プールろ過器の更新及び給水設備工事等を行い、教育環境の整備を図った。</p> <p>ろ過器更新工事 7,567,350円 給水管他改修工事 2,908,500円 鉄柵改修工事 740,250円 水道加入負担金 500,000円</p>	<p>施設を長く快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う必要がある。</p>
<p>公共施設ロングライフ事業</p>	<p>施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など小学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。</p> <p>小学校修繕件数89件：8,152,305円 小友小学校廊下張替修理 土淵小学校浄化槽ポンプ取替 遠野小学校給食搬入口舗装 等</p> <p>中学校修繕件数28件：2,654,400円 遠野西中学校消防設備修繕 遠野東中学校浄化槽フロアポンプ取替 等</p>	<p>設備の保守点検や学校巡回、学校との連携を通して、施設の適切な維持管理に努める。</p>

事業	成果	課題
通学対策の充実		
通学対策費	<p>遠距離から通学する児童のため、スクールバス等を実行し、通学の負担の軽減を図った。</p> <p>また、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離児童に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>①小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス1台（事業費23,290,656円） ・遠距離通学費補助金（通学距離4km以上）19名（事業費152,000円） <p>②中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学バス等運行委託料、管理費等 バス18台（事業費47,218,854円） （各中学校6台） ・遠距離通学費補助金（通学距離6km以上）5名（事業費24,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編成に伴い、スクールバス通学の生徒が増えることから、安全でより良い運行体制を構築するために、運行委託業者と連携を図りながら検討を行うことが必要である。 ・スクールバス等を住民利用に供する活用方策については、関係課と連携を図りながら検討を行うことが必要である。
教材の充実		
教材整備費	<p>各小中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。</p> <p>また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。</p> <p>①小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、児童用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 13,491,078円 <p>②中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、生徒用図書、パソコン借上料、その他教材用消耗品等 11,073,632円 	<p>児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。</p>
理科教育設備整備事業	<p>学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（4校） 1,004,510円 ・中学校（3校） 1,007,820円 	<p>児童・生徒が質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の充実を図る。</p>

事業	成果	課題
教育費の支援		
私立幼稚園保育料助成事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保育料に対する助成を行い、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1子（基準額から5%軽減） 33名 ・第2子（基準額から10%軽減） 27名 ・第3子以降（月額4,800円を上限）10名 <p>事業費 2,529,500円 計70名</p>	<p>今後も、わらすっこプラン事業に基づき、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全運営の支援に努める。</p>
私立幼稚園就園奨励事業	<p>私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼稚園教育の振興に資した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の園幼稚園41名、遠野聖光幼稚園25名（計66名 事業費 8,065,200円） 	<p>なお、遠野聖光幼稚園については、認定こども園として「子ども・子育て支援新制度」へ平成27年4月から移行し、施設型給付を受給するため、幼稚園就園奨励費は対象外となる。</p>
私立幼稚園運営費補助金	<p>市内の私立幼稚園2園に対し、5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、1園当たり400,000円を加えた金額を上限として、園庭等整備費用や季節行事の経費、備品購入費等、各園の運営経費に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の園幼稚園 515,000円 ・遠野聖光幼稚園 465,000円 	<p>今後も、わらすっこプラン事業に基づき、幼児教育の振興を図っていく必要がある。</p>
就学援助費	<p>経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小学校：支給児童数 150名 （事業費 9,785,379円） ②中学校：支給生徒数 95名 （事業費 10,422,680円） 	<p>就学援助制度の周知徹底を図り、すべての児童・生徒が義務教育を円滑に受けることができるよう努める。</p>
奨学資金の貸付		
育英事業（貸付分）	<p>向上心に燃える優秀な学生であって、経済的な事由により修学が困難である優秀な学生79名に対して学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続大学生等 49名 ・新規大学生等 30名 <p>（事業費 37,590,835円） ※平成25年度決算時滞納額 7,753,800円</p>	<p>滞納額は微減している状況であるが、長期滞納者等については、保証人及び連帯保証人への償還要請を行い、未償還となっている貸付金の回収に一層努める必要がある。</p>

(I) 学校給食の充実

■総括

- ・ 成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、豊かな人間形成等の目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい給食の提供に努めました。
- ・ 給食の食材には遠野産の食材を積極的に利用し、地産地消を推進するとともに、「遠野まるごと給食」を実施し、生産者等との対話を通しながら郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めました。また、栄養教諭等が各学校を訪問して栄養指導及び健康教育を行い、食育の推進に努めました。
- ・ 学校給食のほか、食育の推進、地産地消の推進、高齢者への配食サービス、災害時の炊き出しサービスの機能を備えた市民の健康を「食」で支える拠点として、平成 24 年度から改築を進めてきた「遠野市総合食育センター」の第 2 期工事として、学校給食配送車庫庫、駐車場、防風塀等の整備を行い、11 月から施設の全面供用を開始しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
食育及び地産地消給食の推進	<p>栄養バランスのとれた季節感のある給食を提供することができた。食材には遠野産の農産物を多く取り入れ、地場産物の使用割合を高め、消費の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産物の使用割合 目標 65.0% 実績 67.6% ・ 事業費 207,388,375円 	<p>高品質な食材の安定的な確保及び冬期間における地場産の食材の確保が難しい。</p>
	<p>食育と地産地消を推進する活動の一環として、「遠野まるごと給食」を実施し、遠野産の食材にこだわった給食を提供するとともに、農業生産者や給食センター職員が学校を訪問し、児童・生徒と食の大切さや地域の食文化等について語り合うことにより、児童・生徒が食に対する理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施時期及び実施校 9月 上郷小学校 10月 遠野東中学校 11月 遠野北小学校 ・ 事業費 1,799,521円 	<p>郷土食や市民から提案された献立について、給食で提供するために調理の工夫が必要である。</p>

<p>学校訪問及び栄養指導の推進</p>	<p>学校との連携を密にし、栄養教諭及び学校栄養職員が栄養指導及び健康教育を行い、食育の推進を図った。 学校訪問 39回</p>	<p>食育センター施設の見学等も含めて、効果的な栄養指導のあり方を検討していく必要がある。</p>
<p>総合食育センターの整備</p>	<p>本市における食育と地産地消の拠点施設である「総合食育センター」の第2期工事を実施し、11月から高齢者への宅配弁当の提供など、全面供用を開始した。</p>	

ウ 生涯学習の推進

■総括

- ・「広報遠野」に定期的に掲載する「学びのいずみ」や市ホームページにより、生涯学習情報の提供を行いました。生涯学習講座や交流事業の一部について、民間活力を生かした振興を図るため業務を委託しました。
- ・児童館、児童クラブ、小学校の教室及び地区センターを利用して「放課後子ども教室」を市内9小学校区で開催し、児童の安全な放課後の居場所づくりと家庭学習の習慣づけを図りました。
- ・芸術文化の振興については、音楽、演劇等の自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供しました。また、市民芸術祭、遠野物語ファンタジー等の開催や、遠野市民センターバレエスタジオ及び遠野少年少女合唱隊の運営により、市民芸術文化活動の促進に寄与しました。

■成果と課題

事業	成果	課題
生涯学習のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広報遠野の「学びのいずみ」や市ホームページにより生涯学習情報を定期的に提供した。 ・市民センター及び地区センターにおいて各種講座を開催し、生涯学習の推進に努めた。 ・生涯学習講座や交流事業の一部について、民間活力を生かした振興を図るため業務委託した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を生かした新しい講座の開設など、業務委託を行うとともに、連携し事業を進める必要がある。 ・今後も、定期的かつ継続的に学習機会を提供していく必要がある。
地域教育文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域で子供を育てる活動発表会」を開催し、多くのPTA、教員に家庭、地域でのつながりについて学習機会を提供することができた。 ・小・中学校との連携による「家庭教育ゼミナール」を市内10会場で開催し、家庭読書や子育てに関する研修の機会を保護者等に提供し、家庭教育力の向上を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域関係者等のニーズに応じた講座を企画し、更なる参加者を増やす工夫が必要である。

事業	成果	課題
青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を9小学校区で実施し、児童の安全な放課後の居場所づくりや自主学習・家庭学習の習慣づけに寄与した。 ・「地域の子どもは地域で守る」を念頭に、少年センターを中心として、小中高等学校や関係機関・地域が連携し、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の家庭学習・自主学習の習慣化を図るためにも、全小学校区での放課後子ども教室の実施が必要。 ・市民に対し、非行防止や環境浄化の意識の啓発を図り、青少年の健全育成を図っていく必要がある。
都市交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市児童11名を受け入れ、遠野市児童22名と自然体験などを通じて交流を深めた。 ・姉妹都市であるイタリア・サレルノ市のサレルノ国際映画祭に「遠野賞」として切り絵を贈呈した。 ・平成26年度で姉妹都市締結30周年を迎えるイタリア・サレルノ市への市民訪問ツアーPRに係るチラシを印刷し、市民等への事業の周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、節目となる年には、友好を深める記念事業の実施について検討していく必要がある。
芸術文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ○「宝くじおしゃべり音楽館」 ○松竹新喜劇「三婆」 ○「TUKEMEN LIVE 2013」 ・遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の活動を支援するとともに、発表会を開催し、児童・生徒の情操教育等に寄与した。 ・第39回遠野物語ファンタジー「河童のやんたろう」を開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代がキャスト、スタッフ等として参加することにより、市民協働による舞台をつくりあげることができた。 ・市芸術文化協会加盟団体の自主事業の開催に対する支援を行うとともに、市民芸術祭（合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会及び菊花展）を開催し、芸術文化団体等が日頃の成果を披露する機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の開催に当たっては、住民ニーズ等の把握に一層努めていく必要がある。 ・バレエスタジオ及び少年少女合唱隊については、より効果的な運営を展開することができるよう、受講生の確保に努める必要がある。 ・遠野物語ファンタジーについては、多くの市民が参加することのできる体制の継続が必要がある。

エ ふるさとの文化の継承・創造

■総括

- ・ 文化財は先人の営みを知る大切な遺産であることから、これを調査・保護し後世に確実に継承していくことを基本に据え、文化財への理解と関心を深める学習機会の充実を図りました。
- ・ 国指定重要文化財「千葉家住宅」を公有化し、その保護と適切な管理を行うと共に修復保全に向けた計画を検討し、重要文化的景観の選定を受けた土淵町山口集落の良好な景観形成に取り組むなど文化財の保護に努めました。

■成果と課題

事業	成果	課題
文化財調査保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市指定文化財等の説明版2基、標柱9基を設置し周知したほか、登録有形文化財「川前別家」のキクイムシ駆除を実施、市指定文化財早池峯神社黒門の屋根葺替工事に対し1,075,000円を補助し、文化財の保護に努めた。 ・ 神楽の映像記録を作成するとともに、5団体へ備品購入に要する経費に対する補助、2団体に発表会経費に対する補助を行うなど、郷土芸能の継承に努めた。 	文化財調査・保護と郷土芸能の活動・育成支援を継続し、郷土の文化継承、発展に努めていく必要がある。
埋蔵文化財発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 枳野崎遺跡の室内整理を行って調査報告書300部を刊行し記録保存すると共に、開発事業との調整を円滑に進め、埋蔵文化財を保護した。 ・ 小中学生と保護者を対象に、縄文土器作りや勾玉作りなどの文化財体験教室を開催し、埋蔵文化財に親しみながら学習する機会を提供した。 	各種開発と埋蔵文化財保護の調整に努め、遺物や調査記録の適正な管理・公開活用を継続していく必要がある。
文化的景観保存事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民と協力し、「遠野 土淵山口集落」の景観保護と修景を目的とした景観点検や地域づくり研修を実施した。 ・ 民俗調査として「食の暦」調査を実施して、その成果を地域住民と共有した。 ・ 国の重要文化的景観に選定されたことを受けて周知資料としてパンフレット5,000部を作成し、関係機関等に配布した。 	各種調査等を今後も継続していく必要がある。 選定後の景観保護と修景に対して支援していく必要がある。
千葉家重要文化財指定整備活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な整備活用を視野に、国指定重要文化財「千葉家住宅」および周辺山地等を一体的に公有化した。 ・ 業務委託により公有化後の適切な維持管理を行った。 ・ ハセ小屋の応急修理を実施すると共に、主屋周辺の環境整備を行い、本格的修理開始までの間における国指定重要文化財の保全に努めた。 	適切な維持管理を継続すると共に、全体的修理、防災について専門家の意見を踏まえ、具体的な年次計画を策定する必要がある。 整備後の活用についても地域住民等の意見を踏まえ検討していく必要がある。

(2) 平成25年度に実施した事務事業の点検及び評価

ア 点検及び評価の概要

「遠野市総合計画後期基本計画」（平成23年度～平成27年度）では、市民主体の行政運営を推進するため、計画の進捗状況を数値で示した141のまちづくり指標について、年度ごとに段階的に目標値を設定し、その達成状況を毎年度公表することとしています。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に当たっては、**教育委員会の権限に関する事務に関連する19のまちづくり指標及びこれに関連する事業について外部評価を実施**しました。

また、**平成25年度に教育委員会が実施した82の事務事業の点検及び評価を行うため、それぞれの事務事業の内容と計画値、その成果と実績値などをまとめた成果説明書を作成**しました。

イ 総合計画後期基本計画まちづくり指標の点検及び評価

総合計画後期基本計画まちづくり指標のうち教育委員会の権限に属する事務に関連する19の指標について、**平成25年度における目標値に対する実績値の割合から達成率を算出し、**

- ①達成（達成率 100%以上）
- ②概ね達成（達成率90%以上 100%未満）
- ③未達成（達成率90%未満）

の3段階に区分し、資料編【資料1】平成25年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）実績一覧表としてまとめました。

【平成25年度総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）総括表】

項目	平成25年度 (後期基本計画)				平成24年度 (後期基本計画)			
	指標数		率 (%)		指標数		率 (%)	
まちづくり指標の数	19		100		19		100	
達成（達成率 100%以上）	11	17	57.9	89.5	9	16	47.5	84.2
概ね達成（達成率90%以上 100%未満）	6		31.6		7		36.7	
未達成（達成率90%未満）	2	2	10.5	10.5	3	3	15.8	15.8

【点検及び評価】

- (1) **「達成」であった指標は次の11指標であり、指標全体の57.9%に当たります。**

これらの指標については、目標値を上回っており、関連事業においても着実な進展が図られていることから、今後もこれを継続していくため、さらに取組内容の充実を図っていく必要があります。

なお、平成25年度に事業実施予定の無かった「姉妹都市への市民派遣数」も含んでいます。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
4	姉妹都市への市民派遣数	100.0	事業実施予定なし (隔年実施)
5	小学校標準学力検査偏差値	100.0	
9	学校給食食材に占める地場産物使用割合	104.0	
10	市民センター施設の利用件数	115.0	スポーツ施設除く
12	全講座における継続的な学習機会の割合	100.0	
14	家庭教育講座等の延べ参加者数	108.5	
15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	123.1	
16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	108.2	
17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	104.5	
18	指定文化財説明板設置件数	125.0	累計
19	民俗芸能の映像記録件数	100.0	累計

(2) **「概ね達成」であった指標は次の6指標で、指標全体の31.6%に当たります。**

学習定着度状況調査（小学校）は平成24年度よりも達成率が上回りましたが、その他の項目はやや下回りました。

しかし、6指標ともに91%以上と高い達成率であり、概ね目標値に近い値となっています。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
2	老人クラブ加入者数	93.4	累計
6	中学校標準学力検査偏差値	94.3	
7	学習定着度状況調査	99.9	小学校
8	学習定着度状況調査	93.6	中学校
11	市民センター施設の利用者数	91.5	スポーツ施設除く
13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	94.7	

(4) **「未達成」であった指標は次の2指標で、指標全体の10.5%に当たります。**

スポーツ施設利用者数については、市民プールの施設改修により平成24年9月以降使用できなかったこと及び、他の体育施設についても国体会場準備のため使用を制限していたことから、利用者数が大幅に減少しました。

中学生・高校生の海外派遣数については、平成23年2月に発生したカンタベリー地震の影響により、高校生のニュージーランド・クライストチャーチ市との交流事業が中止

となったまま現在に至っていることから、目標値を下回る結果となりました。

単位：％

No.	指標名	達成率	備考
1	スポーツ施設利用者数	89.4	
3	中学生・高校生の海外派遣数	63.3	

ウ 平成25年度に実施した82事務事業の点検及び評価

平成25年度に遠野市教育委員会が実施した82の事務事業の点検及び評価を行うため、個々の事務事業の内容・計画値・予算額とその成果・実績値・決算額を、資料編【資料2】**平成25年度事務事業成果説明書（教育委員会82事務事業）**としてまとめました。

エ 外部評価の結果

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による外部評価については、平成26年12月17日（水）に「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成25年度実施分）の点検・評価会議」を開催し、**学識経験を有する5名の評価員に、総合計画後期基本計画まちづくり指標（教育委員会19指標）の達成状況及びこれに関連する事業の実施状況について、次のとおり評価、意見等をいただきました。**

外部評価員（5名）

氏名	所属機関・役職名
菊池和子	遠野市校長会副会長
熊谷義弘	遠野市体育協会理事長
新田光志	遠野市芸術文化協会事務局長
海老糸子	遠野地域婦人団体協議会会長
荒田美知子	遠野町地域教育協議会会長

点検・評価会議における主な評価、意見等

■いただいた主な評価、意見等	■事務局からの主な回答
【市民センター施設利用について】	
<p>○勤労青少年ホームの定期利用団体と市民センターの定期利用団体は同一の団体ではないのか。また同一でない場合には取扱いにどのような違いがあるのか。 (新田光志)</p> <p>○市民センター施設について、電気がついていない、あるいは利用されていない部屋が結構あるように思う。節電も大事だが、自由に使える部屋のような、いつでも電気が点いているなど、活気が見えるような施設の使い方はできないか。また、改修に併せて、中が見えない扉に窓を付けるなど、工夫できないものか。 (新田光志)</p> <p>○スポーツ施設利用者数について、未達成になっていることについて、市民センターの駐車料金は、以前は無料だったと記憶している。駐車場の改修の時に有料になったと思っているが、団体利用者は割引があるのに個人利用者は通常料金になる。個人の利用者についても割引や無料化すれば利用者が伸びるのではないか。 (熊谷義弘)</p>	<p>○それぞれ、違う団体が登録している。勤労青少年ホームは、勤労青少年を対象として補助金を受けて建設した施設であるので、勤労青少年を優先して利用させるため、団体登録をしている。しかし、市民センターの市民会館と勤労青少年ホームは、一体の施設となっているため、現在は登録団体に特定の差別があるわけではない。市民センターの大規模改修と併せて、取り扱いを一本化することも考えている。</p> <p>○施設について、改修の中で対応できる部分があれば検討したい。利用促進については、課題としたい。</p> <p>○財源の問題もあり、無料化は難しいと思っているが、現在も社会教育団体で定期利用している団体は半額にしている。駐車スペースが狭いため、無料開放のようにすると、実際に施設を利用する人が駐車できない可能性が出てくる</p>
【市民協働の芸術文化事業について】	
<p>○市民協働の芸術文化事業の参加者数について、実績で目標値は上回ったが、実数は減少していると記載してあるが、参加人数だけが文化事業の目的なのか。人数が多ければよいというものでもないと思うが考えを聞かせてほしい。 (海老糸子)</p> <p>○芸術文化振興事業で、自主事業の採算はどうなっているか。 (菊池和子)</p>	<p>○参加人数は多いに越したことはないと思っている。計画は、参加できる人口など現状を勘案して検討したい。</p> <p>○チケット代としての歳入予算を600名から700名の入り込みで試算している。しかし、観客数に関わらず、かかった費用は歳出予算を組んでおり、どうしても持ち出しはある。チケット代で賄おうとすると、料金が高額になり観客が集まらない可能性がある。</p>

【学校給食について】	
<p>○給食で、アレルギーのある児童に代替給食を出しているようだが、対象人数はどうか。提供している食材はどういったものか。 (荒田美知子)</p> <p>○アナフィラキシーショックの対応で注射は保健室に準備しているのか。 (熊谷義弘)</p>	<p>○アレルギーのある児童で代替給食を提供しているのは4名。代替をしているのは主菜のみ。できるだけ、他の児童と同じようなものになるように配慮している。アレルギーは小麦や海鮮など。</p> <p>○代替給食を始めるときに、児童にアンケートを取っているが、必要と思われる児童はいなかった。</p>
【と・お・のいきいき参画プランについて】	
<p>○とのおのいきいき参画プランについて、人権擁護委員会でも男女共同参画の取り組みをしているが、人権擁護委員会の活動とは別に市は事業を行っている。これを連携して行えばもっと幅広いものになると思うので、人権擁護委員会と組むような形ではすすめられないものか。 (荒田美知子)</p>	<p>○今まではハートフルステージと協力して対応してきたが、平成25年度は男女共同参画フォーラムということで開催しました。女性7団体と協力して進めている。今後については、女性団体と相談しながら前向きに進めていきたい。</p>
【特色ある学校づくり事業について】	
<p>○特色ある学校づくり事業について教えていただきたい。特に中学校は再編してどのような取り組みになっているのか。西中は小友の氷口御祝と宮守の郷土芸能を取組んでいるが、来年から制服も同じになり何か新しいものに取り組みたいと聞いている。 (新田光志)</p>	<p>○小学校は、語り部や郷土芸能など文化活動が多い。中学校は地域の先輩との交流によるキャリア教育に取り組んでいる。各中学校ともに新しい伝統を作っていきたいと考えているようだ。</p>
【通学対策について】	
<p>○中学校の通学対策で、夏休みや冬休み中の運行はどうなっていますか。 (荒田美知子)</p> <p>○時間が合わないなどでスクールバスに乗れず保護者の負担が増えているということはないか (荒田美知子)</p>	<p>○土日を含み長期休業中もクラブ活動があるため、1日1往復スクールバスを運行している。</p> <p>○下校時は2回運行しているため、通常の部活動の場合は支障がないが、少年団活動については保護者が対応している。負担がないわけではないが、学校活動以外に対応することができないし、苦情も今は特に来ているわけではない。</p>

【民俗芸能の映像記録について】	
<p>○民俗芸能の映像記録件数は、累計で21団体となっており、平成25年度は1件ということですが、全部でどれくらいあるのでしょうか。</p> <p>(新田光志)</p>	<p>○市内にある芸能団体は、64団体であり、郷土芸能競演会で披露されるものを記録している。</p>
<p>■その他の意見等</p> <p>○まちづくり指標の目標値の設定について、前年度の実績を下回っているものについて、設定の考え方について。</p> <p>(荒田美知子)</p> <p>○まちづくり指標の中の、全講座における継続的な学習機会の割合とは、どういったことなのか説明してほしい。</p> <p>(菊池和子)</p> <p>○いきいき参画フォーラムが12月21日にあるが、宮守会場のため会場までの移動手段がないことや、例年寒い時期に開催されるため暖かい時期にできないものか。</p> <p>(海老糸子)</p> <p>○中学校を再編して、少ない人数でできなかったことができるようになったという声がある。再編協議をしているときはいろいろな議論をしたが、やはり、生徒にとってよかったのではないか。</p> <p>(新田光志)</p>	

○資料編

【資料1】

平成25年度総合計画後期基本計画まちづくり指標

(教育委員会19指標) 実績一覧表

【資料2】

平成25年度事務事業成果説明書

(教育委員会82事務事業)

No.	まちづくり指標		前年度実績	平成25年度		達成状況	達成率(%)	成果・評価
	指標名	単位		目標値	実績値			
1	スポーツ施設利用者数	人	193,801	216,800	181,163	未達成	83.6	市営プールは、平成24年8月以降、施設改修のため使用ができなかったこと、また、他の体育館施設では国体会場準備のため使用制限をしていたことにより利用者の減となった。今後も、改修等により利用者の制限が生じるが、国体開催を契機とした競技スポーツ健康づくりの推進を図っていく。
2	老人クラブ加入者数（累計）	人	3,038	3,180	2,971	概ね達成	93.4	60歳を超えても再雇用される方や、健康状態により行事の参加が困難な方などにより、加入者は年々減少している。引き続き、老人クラブを主体とした加入促進に努める。
3	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	19	9	未達成	47.4	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生の海外派遣を実施した。（市内中学生9人、引率2人）遠野高校が実施していたニュージーランド・クライストチャーチ市との海外交流事業については、平成24年度以降、震災の影響により中止となったまま現在に至っている。今後は、交流先であるクライストチャーチ市の意向を尊重しながら、今後の実施について検討していく。
4	姉妹都市への市民派遣数	人	0	0	0			隔年実施のため、今年度は行わなかった。平成26年度にイタリア・サレルノ市との姉妹都市締結30周年事業にあわせ訪問ツアーを実施することから、事前準備講座等を実施した。
5	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	52.4	53.4	53.4	達成	100.0	全体としては、目標を達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内11校において、2年生では9校、3年生では10校、4年生では11校、5年生では10校、6年生では5校が全国平均を上回っている状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.5	50.6	47.7	概ね達成	94.3	全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内3校において、全国平均を上回っているのは、1年生での1校だけという状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用している。
7	学習定着度状況調査（小学校）	県平均を上回る点差	(-0.6) 71.1	(+1.8) 72.7	(+1.7) 72.6	概ね達成	99.9	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、70.9点である。目標値は、県平均を1.8点上回る72.7点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内小学校11校において、4年生では8校、5年生では6校が県平均点を上回っている状況である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。*括弧内の数値は、県平均との差。
8	学習定着度状況調査（中学校）	県平均を上回る点差	(-3.0) 54.4	(+0.6) 61.4	(-3.3) 57.5	概ね達成	93.6	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は、60.8点である。目標値は、県平均を0.6点上回る61.4点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内中学校3校において、2年生では1校、3年生でも1校が県平均点を上回っている状況である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでいる。*括弧内の数値は、県平均との差。
9	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	69.5	65.0	67.6	達成	104.0	年間を通して給食メニューの工夫を図るとともに、「遠野まるごと給食」を年3回実施するなど、産直組合と連携しながら遠野産食材の使用に努めた。
10	市民センター施設の利用件数（スポーツ施設除く）	件	4,662	4,100	4,714	達成	115.0	各種サークル、団体の活動拠点として利用されている。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。
11	市民センター施設の利用者数（スポーツ施設除く）	人	153,731	176,700	161,655	概ね達成	91.5	昨年度と比較し利用者数は微増したものの年度別目標値には達していない。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれることから、利用団体の使いやすい施設運営を推進する。
12	全講座における継続的な学習機会の割合	%	38.6	40.0	40.0	達成	100.0	多様な市民ニーズに対し、地区センターと連携し講座を企画した。今後も市民が参加しやすいように企画し、計画的に講座を開催する。
13	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,513	4,790	4,535	概ね達成	94.7	生涯学習講座の開催は、遠野市教育文化振興財団へ業務委託していることから、引き続き連携して魅力的な講座開催に努める。
14	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,098	950	1,031	達成	108.5	小中学校、各町地域教育協議会と連携し、家庭教育力の向上などを目的とした「家庭教育セミナー」や、「地域で子どもを育てる活動発表会」を実施した。家庭及び地域で子どもたちを育てる教育力のさらなる向上を目指し、今後も様々な講演会等を実施していく。
15	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	15	13	16	達成	123.1	大ホール5回、中ホール2回、交流ホール1回、他のあえりあ遠野会場2回、まちなかギャラリー1回、みやもりホール5回と各会場で開催した。引き続き発表の場を提供し、芸術文化の振興に努める。
16	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,293	1,940	2,099	達成	108.2	目標値は達成したが、参加者数は昨年度よりも減少している。引き続き関係団体と魅力ある事業の企画をし、参加者数の向上を図る。
17	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	9,693	8,500	8,880	達成	104.5	目標値は達成したが、鑑賞者数は昨年度よりも減少している。参加者数の向上と同様に、関係団体と魅力ある事業の企画をし、多くの方が鑑賞できるように努める。
18	指定文化財説明板設置件数（累計）	基	69	64	80	達成	125.0	前年度に引き続き計画を前倒しして実施した。今後も老朽化した標柱、説明板を優先にし計画的に設置を行い、指定文化財の周知と啓発に資する。
19	民俗芸能の映像記録件数（累計）	件	20	21	21	達成	100.0	堅実に映像記録の目標を達成した。

【未達成のまちづくり指標（2指標）の分析】

No.	まちづくり指標 指標名	未達成となった現状の分析	要因	今後の見通し
1	スポーツ施設利用者数	市営プールは、平成24年8月以降、施設改修のため使用ができなかったこと、また、他の体育館施設では国体会場準備のため使用制限をしていたことにより利用者の減となった。	指標設定	今後も改修等により利用者の制限が生じるが、代替施設等の利用を促進するとともに、国体開催を契機とした競技スポーツ健康づくりの推進を図っていく。
3	中学生・高校生の海外派遣数	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生の海外派遣を実施したが、遠野高校が実施していたニュージーランド・クライストチャーチ市との海外交流事業については、平成24年度以降、震災の影響により中止となったまま現在に至っている。	外部要因	交流先であるクライストチャーチ市の意向を尊重しながら、今後の実施について検討していく。

平成25年度事務事業成果説明書一覧表

資料2

No.	款	項	目	事業名
1	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）
2	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）
3	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（公民館）
4	3	1	3	高齢者スポーツ大会費
5	3	1	3	老人クラブ育成指導費
6	3	2	1	青少年健全育成活動事業費
7	4	1	5	健康スポーツプログラム推進事業費
8	5	1	1	勤労青少年ホーム運営事業費
9	10	1	1	教育委員会費
10	10	1	2	地域教育文化振興事業費
11	10	1	2	事務局一般事務費
12	10	1	2	私立幼稚園運営費補助金
13	10	1	2	私立幼稚園就園奨励事業費
14	10	1	2	私立幼稚園保育料助成事業費
15	10	1	2	学校教育一般事務費
16	10	1	2	文化行事奨励費
17	10	1	2	外国人講師招へい事業費
18	10	1	2	就学指導委員会費
19	10	1	2	学校教育専門員配置事業費
20	10	1	2	特色ある学校づくり事業費
21	10	1	2	平成・南部藩寺子屋交流事業費
22	10	1	2	特別支援教育推進事業費
23	10	1	2	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費
24	10	1	2	いわての復興教育学校支援事業費
25	10	1	2	道徳教育総合支援事業費
26	10	1	3	教育研究所費
27	10	1	3	学力向上スタートダッシュ事業費
28	10	1	4	育英事業費
29	10	1	5	公舎管理費
30	10	2	1	小学校管理費
31	10	2	1	学校保健管理費（小学校）
32	10	2	2	通学対策費（小学校）
33	10	2	2	教材整備費（小学校）
34	10	2	2	就学援助費（小学校）
35	10	2	2	特別支援教育関係費（小学校）
36	10	2	2	特別支援教育就学奨励費（小学校）
37	10	2	2	理科教育設備整備事業費（小学校）
38	10	2	2	体育・文化行事奨励費（小学校）
39	10	2	2	教育研究指定校費（小学校）
40	10	2	3	プール改修事業費
41	10	2	3	遠野小学校屋内運動場改築整備事業費

No.	款	項	目	事業名
42	10	2	3	附馬牛小学校整備事業費
43	10	2	3	綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）
44	10	2	3	綾織小学校学びのプラットフォーム整備事業費（繰越明許費）
45	10	3	1	中学校管理費
46	10	3	1	学校保健管理費（中学校）
47	10	3	2	通学対策費（中学校）
48	10	3	2	教材整備費（中学校）
49	10	3	2	就学援助費（中学校）
50	10	3	2	特別支援教育関係費（中学校）
51	10	3	2	特別支援教育就学奨励費（中学校）
52	10	3	2	理科教育設備整備事業費（中学校）
53	10	3	2	体育・文化行事奨励費（中学校）
54	10	3	3	遠野中学校改築整備事業費
55	10	3	3	遠野東中学校整備事業費
56	10	3	3	遠野西中学校整備事業費
57	10	3	3	遠野中学校改築整備事業費（繰越明許費）
58	10	4	1	幼稚園運営事業費
59	10	5	1	生涯学習一般事務費
60	10	5	1	生涯学習のまちづくり推進費
61	10	5	1	青少年活動サポート事業費
62	10	5	1	芸術文化振興事業費
63	10	5	1	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費
64	10	5	1	都市交流推進事業費
65	10	5	1	放課後子どもプラン推進事業費
66	10	5	2	公民館一般管理費
67	10	5	2	文化交流施設管理費
68	10	5	5	文化財調査保護費
69	10	5	5	埋蔵文化財発掘調査費
70	10	5	5	文化的景観保存事業費
71	10	5	5	千葉家重要文化財指定整備活用事業費
72	10	5	5	千葉家重要文化財指定整備活用事業費（繰越明許費）
73	10	6	1	スポーツ振興一般事務費
74	10	6	1	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費
75	10	6	2	学校給食事業費
76	10	6	2	ふるさと食材給食事業費
77	10	6	3	体育施設管理費
78	10	6	3	体育施設管理費（繰越明許費）
79	10	6	4	食べ物が育てる元気な遠野っ子事業費
80	10	6	4	総合食育センター整備事業費
81	10	6	4	総合食育センター管理費
82	10	6	4	総合食育センター整備記念事業費

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）			No. 1	単位：円
事業内容	小学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。			計画値	対象施設 小学校 11校	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など小学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数89件：8,152,305円 小友小学校廊下張替修理 土淵小学校浄化槽ポンプ取替 遠野小学校給食搬入口舗装 等			実績値	修繕実施施設 小学校 11校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
8,385,000	8,152,305	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					8,152,305	

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）			No. 2	単位：円
事業内容	中学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。			計画値	対象施設 中学校 3校	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場など中学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数28件：2,654,400円 遠野西中学校消防設備修繕 遠野東中学校浄化槽プロアポンプ取替 等			実績値	修繕実施施設 中学校 3校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
3,000,000	2,654,400	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					2,654,400	

2 款	総 務 費	1 項	総 務 管 理 費	5 目	財 産 管 理 費	
事業名		公共施設ロングライフ事業費（公民館）			No. 3	単位：円
事業内容	地区センター（公民館）施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ快適な環境の整備に資する。			計画値	対象施設 地区センター 6施設 宮守地区 4施設 計 10施設	
	成果	施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、地区センター（公民館）施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数14件：999,285円 土淵地区センター蛍光管安定器取替修繕 青笹地区センター建具他修繕 等			実績値	維持修繕件数 14件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
1,000,000	999,285	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					999,285	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		高齢者スポーツ大会費			No. 4	単位：円
事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。	計画値	大会数 5回 参加者数 1,500人			
	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、スポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 ・第8回ゲートボールベタタンク大会（5月28日、380人参加） ・第8回さわやかスポーツ大会（7月18日、280人参加） ・第8回グランド・ゴルフ大会（8月26日、98人参加） ・いきいきシルバースポーツ大会（県大会）（9月14日、57人参加） ・第7回シルバー室内競技大会（3月5日、375人参加）		実績値	大会数 5回 参加者数 1,190人		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
551,000	367,654				367,654	

3 款	民 生 費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費
-----	-------	-----	-----------	-----	-----------

事業名		老人クラブ育成指導費			No. 5	単位：円
事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。	計画値	単位クラブ数 68団体 事業回数 5回 会員数 3,170人			
	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 ・第42回全国老人クラブ大会参加（岩手県会場10月11日、14人） ・市町村ブロック別活動研修会（遠野市会場11月14日、50名） ・第8回シルバー文化祭（展示部門、11月2日）作品497点 ・第8回シルバー文化祭（舞台部門、11月15日）参加者650人 ・第8回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月12日）		実績値	単位クラブ数 68団体 事業回数 5回 会員数 2,971人		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,927,000	2,893,834	1,895,000			998,834	

3 款	民 生 費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児 童 福 祉 総 務 費
-----	-------	-----	-----------	-----	---------------

事業名		青少年健全育成活動事業費			No. 6	単位：円
事業内容	青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。	計画値	少年委員活動回数 延880回			
	少年委員を市内全部で83人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等をはじめとする地域団体との連携を取り補導活動を進めた。 通常の補導活動はもとより、市内中学生が参加した七夕祭り特別補導や、「岩手っ子いきいきサポート作戦」では他団体と合同巡回を実施。巡回回数は246回。延べ、558人参加。 その他、有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。		実績値	少年委員活動回数 延558回		
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,747,000	3,127,040				3,127,040	

4 款	衛 生 費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費		
事業名		健康スポーツプログラム推進事業費			No. 7	単位：円	
事業内容	1 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）及びサテライト校（地区センター）で実施し、定期的に運動する機会を提供することで、健康増進・意識づけを図る。 2 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、運動する習慣づけを図る。 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・キッズ元気アップ応援隊による園児の体力・運動能力向上の推進			計画値	健康づくり教室 ・本校 96回 ・サテライト校 65回 ・とすぼ大学祭 1回 チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援隊 13カ所		
	1 遠野市健康づくり総合プログラムの健康づくり教室を実践し、継続的に教室を開催することで、健康増進を図るとともに、健康づくりの意識づけを行った。 2 小学生の体力づくりのため「チャレンジ徒歩通学」を全小学校で取り組み、就労前の子どもたちには「キッズ元気アップ応援隊」として保育園等に講師を派遣し、リズム体操などを行い、体力アップ、運動することの楽しさを伝えた。				実績値 健康づくり教室 ・本校 119回 ・サテライト校 58回 ・とすぼ大学祭 1回 チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援 14カ所 キッズエアロビック教室 6回		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,083,000		3,311,816				576,600	2,735,216

5 款	労 働 費	1 項	労 働 諸 費	1 目	勤労青少年ホーム管理費		
事業名		勤労青少年ホーム運営事業費			No. 8	単位：円	
事業内容	①定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導（定期利用団体8団体） ②遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 当ホームを遠野市青年団体協議会に年間120日の夜間管理委託。 ③勤労青少年ホームの維持・管理に係る業務の実施 施設内清掃業務委託、自動扉保守管理業務委託等。			計画値	定期利用申請団体の利用 8 団体		
	・定期利用団体の活動に対し、施設の使用等の指導・助言をした。年間を通して、音楽室・集会室など1,538回の使用があり、延べ15,301人が利用。 ・遠野市勤労青少年フットサル大会への共催。 ・遠野市青年団体協議会定期総会及び青年団体協議会の活動への助言・支援。 ・勤労青少年ホームの維持・管理業務を適切に行った。				実績値 定期利用申請団体 ・絵画・創作サークル ・書道サークル ・英会話サークル ・合唱サークル ・バンド4 団体		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
4,191,000		3,617,886					3,617,886

10 款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	1 目	教育委員会費		
事業名		教育委員会費			No. 9	単位：円	
事業内容	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する教育に関する事務を管理し、及び執行する。			計画値	定例会開催 12回 臨時会開催 随時 委員協議会開催 随時		
	教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 定例会及び臨時会では、19件の議案を審議した。 ・教育委員会委員報酬（教育長を除く4名） 2,656,800円 ・教育委員会費（旅費、会議出席負担金等） 409,777円				実績値 定例会開催 12回 臨時会開催 3回		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,237,000		3,066,577					3,066,577

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		地域教育文化振興事業費			No.10	単位：円
事業内容	1 学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を推進するため補助金を支出する。 2 家庭教育を推進するための講演会への支援を行う。			計画値	家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 950人 家庭教育講演会 1回	
成果	1 地域高育協議会に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動推進等、地域の特性を生かした地域教育活動に支援した。 2 「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で開催し、841人が受講。子育てや読み聞かせ、防災、健康等に関する学習機会を提供し、保護者等の家庭教育力の向上を図った。 3 地域で取り組まれている実践活動について、市内2地域、教育委員会から事例発表する「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時に開催。他地域での実践活動から地域教育について学び、互いの活動の意欲向上につなげることができた。			実績値	地域教育協議会 11団体 家庭教育ゼミナール開催 13回 家庭教育ゼミナール参加者 841人 地域で子供を育てる活動発表会、家庭教育講演会 1回（参加190人）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
817,000	720,944	220,000			500,944	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		事務局一般事務費			No.11	単位：円
事業内容	教育行政の推進に当たって必要となる賃金、需用費、役務費、負担金・補助金その他の一般事務費。			計画値	事業支援団体 1団体（遠野市学校保健会）	
成果	適正な予算執行のもと、各種事務及び事業を円滑に実施した。 また、遠野市学校保健会に対して補助金を交付し、学校保健活動の推進を支援した。 ・賃金 9,605,474円 ・共済費 1,273,227円 ・需用費 2,065,988円 ・役務費 110,675円 ・負担金（派遣指導主事給与費負担金等） 9,792,240円 ・遠野市学校保健会運営費補助金 440,000円 ・委託料、使用料及び賃借料等 1,912,540円			実績値	事業支援団体 1団体（遠野市学校保健会）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
28,825,000	25,200,144				25,200,144	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園運営費補助金			No.12	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、その運営経費に対し補助金を交付し、幼児教育の振興を図る。			計画値	私立幼稚園2園 105名	
成果	市内の私立幼稚園2園に対し、5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、1園当たり400,000円を加えた金額を上限額として、園庭等整備費用や季節行事の経費、備品購入費等、各園の運営経費に対して補助金を交付した。			実績値	私立幼稚園2園 72名	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,063,000	980,000				980,000	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園就園奨励事業費			No.13	単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に国から3分の1以内の補助を受けて就園奨励する。			計画値	補助金対象園児数 84人	
成果	私立幼稚園（2園）の園児81人のうち66人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。			実績値	補助金対象園児数 66人	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
8,731,000	8,065,200	2,306,000			5,759,200	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		私立幼稚園保育料助成事業費			No.14	単位：円
事業内容	市立幼稚園に通園させている保護者と、私立幼稚園に通園させている保護者との間の経済的負担の均衡化及び幼稚園教育の振興を図ることを目的に、保育料に対して第1子5%、第2子10%を助成し、第3子以降については月額4,800円を減じた額を助成する。			計画値	保育料助成園児 100名	
成果	市内の私立幼稚園2園に通う児童の保護者に対して、入園料、保育料及び預かり保育料等を加えた金額から幼稚園就園奨励費を差引き、それぞれの割合を乗じて補助金を交付した。			実績値	保育料助成園児 70名	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
3,050,000	2,529,500				2,529,500	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		学校教育一般事務費			No.15	単位：円
事業内容	学校教育に関する庶務一般。関係会議等の開催。また、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。 学校教職員の研修事業として授業力向上研修会、初任者研修会、幼稚園・保育園・小学校交流会、特別支援教育支援員研修会、特別支援教育推進会議、相談担当者連絡会を開催する。 岩手県ことばを育む親の会遠野支部、遠野市特別支援教育研究会の各事業へ補助を行う。			計画値	指導主事の派遣 100回 各種研修会の開催 11回 事業補助団体 2団体	
成果	各教科担当の指導主事の派遣によって校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進することができた。 各種研修会では、各分野の研修を行うことで、学校教育のより一層の充実が図られた。 補助団体の円滑な事業推進を支援することができた。			実績値	指導主事の派遣 91回 各種研修会の開催 7回 事業補助団体 2団体	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,212,000	1,445,529				1,445,529	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		文化行事奨励費			No.16	単位：円
事業内容	市内小中学校作品展の開催、市内小中学校児童生徒文集41「遠野」を発刊する。			計画値	児童生徒作品展の開催 1回 児童生徒文集の印刷 200冊	
成果	市内小中学校作品展会の開催により、文化創造活動の活性化と児童生徒の創造活動の豊かな情操を養うことができた。言語能力を養うとともに、豊かな人間性を育むことを目的に、市内小中学校から推薦された作品をまとめ、児童生徒文集41「遠野」を発刊した。			実績値	児童生徒作品展の開催 1回 児童生徒文集の印刷 270冊	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
275,000	246,285				246,285	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		外国人講師招へい事業費			No.17	単位：円
事業内容	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受ける。			計画値	派遣学校数 14校 派遣回数 200回	
成果	外国語指導助手の生きた英語に触れることで、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことができた。			実績値	派遣学校数 14校 派遣回数 281回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
5,040,000	4,725,000				4,725,000	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		就学指導委員会費			No.18	単位：円
事業内容	就学指導委員会を開催し、児童生徒（就学前児童を含む。）の就学に関する判断、支援を行う。			計画値	就学指導委員会の開催 3回	
成果	児童生徒（就学前児童を含む。）について、知能検査等や各種教育相談を経て、児童生徒個々に合う就学環境を検討・通知し、より良い就学に資することができた。			実績値	就学指導委員会の開催 4回	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
274,000	191,560				191,560	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		学校教育専門員配置事業			No.19	単位：円
事業内容	学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導・支援を行うため、学校教育専門員を1名配置し、教員の指導力の向上を図る。			計画値	訪問学校数	14校
					訪問日数	70日
成果	各小・中学校の要請に応じて学校教育専門員を各校に派遣し、個別の研修から全体の研修まで様々なニーズに対応した。また、その内容は教科指導に限らず、授業づくりの基礎・基本、学校の主題研究の推進に係ることを含め、学校の多様な要望に応え、指導・助言を行った。			実績値	訪問学校数	13校
					訪問日数	67日
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
350,000		234,530				一般財源
						234,530
10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		特色ある学校づくり事業費			No.20	単位：円
事業内容	市内小・中学校が、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計画値	実施学校数	14校
成果	平成25年度も市内全ての小・中学校かが事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動が積極的に展開された。 講師を務める地域住民をおとして、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童・生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれている。			実績値	実施学校数	14校
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
1,400,000		1,199,535				一般財源
						1,199,535
10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		平成・南部藩寺子屋交流事業費			No.21	単位：円
事業内容	根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市と七戸町の児童とそれぞれ市町を相互訪問し、交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団活動のあり方や公衆道徳等の体験を積む。			計画値	参加児童	26人
成果	各小学校を代表する児童が遠野市の代表として活動することで、リーダーとしてあるべき行動を学ぶことができた。 また、ふるさとを改めて見つめる機会を持ち、ふるさとの素晴らしさ、地域のつながりやきずなに気付くことで、遠野の将来を担う児童の育成につなげることができた。 ・受入交流 平成25年7月29日から7月31日まで 八戸市児童45人及び七戸町児童21人が来遠。 ・派遣事業 平成25年8月2日から4日まで 遠野市児童24人が八戸市及び七戸町を訪問。			実績値	参加児童	24人
予算額		決算額		財 源 内 訳		
				国県支出金	地 方 債	そ の 他
891,000		871,500				一般財源
						871,500

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		特別支援教育推進事業費			No.22	単位：円
事業内容	<p>通常学級に在籍し個別に特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活上の支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員14名を配置する。</p> <p>ことばの教室が開設されている遠野小学校及び遠野北小学校以外の小学校に在籍する言語等の個別指導が必要な児童に対して、学習指導講師が巡回指導を実施する。</p>			計画値	<p>特別支援教育支援員の配置 14人</p> <p>学習指導講師の配置 1人</p>	
成果	<p>特別支援教育支援員が児童・生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <p>・配置学校 小学校7校 中学校2校</p> <p>学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができた。</p> <p>・巡回指導実施校 5校 11人</p>			実績値	<p>特別支援教育支援員の配置 14人</p> <p>学習指導講師の配置 1人</p>	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
15,295,000	15,171,617			0	15,171,617	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		遠野わらすっこ「夢の教室」事業費			No.23	単位：円
事業内容	<p>平成21年9月1日に当市と日本サッカー協会との間で締結した協定書により実施している事業。</p> <p>心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会（JFA）が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手やそのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p>			計画値	<p>実施校数 11校</p> <p>実施回数 13回</p>	
成果	<p>大相撲 貴乃花親方に代表される「夢先生」らによる、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。</p> <p>各校からは、「授業後、児童の様子が良い方へ変わった。今後も事業の継続を希望する。」等の評価を得た。</p>			実績値	<p>実施校 11校</p> <p>実施回数 13回</p>	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,630,000	1,506,480				1,506,480	

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	2目	事 務 局 費	
事業名		いわての復興教育学校支援事業費			No.24	単位：円
事業内容	<p>東日本大震災を乗り越え、明るいふるさとを創造していくため、その未来を担う子どもたちを健全に育成することを目的とし、モデルとなる復興教育推進校を指定する。</p> <p>復興教育推進校が主体的に行う復興教育に関する多様な取り組みに対して支援を行い、その結果得られた復興教育に関する成果等について各学校に還元する。</p>			計画値	復興教育推進校 1校	
成果	<p>復興教育推進校の遠野小学校では、復興教育の視点から、普段の教育活動の見直し、充実が図られた。</p> <p>また、校報等を媒介とした情報発信と併せ、関連する授業を公開し、保護者及び地域との連携を深めた。</p> <p>市教育研究所研究発表会での推進校の実践発表、実践をまとめた資料を市立小中学校へ配付することにより、事業成果の啓発を図った。</p>			実績値	復興教育推進校 1校	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
600,000	201,963	200,000			1,963	

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事 務 局 費	
事業名		道徳教育総合支援事業			No.25	単位：円
事業内容	道徳教育に関し実践的な研究を行う学校を道徳教育研究指定校として指定する。 学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るために、指定校が主体的に行う取り組みに対して支援を行い、その結果得られた道徳教育に関する成果等について各学校に還元する。			計画値	指定校 1校	
	成果	指定校の幼小小学校では、授業研究会や研修会を通して、効果的な発問や構造的な板書等について学び、実践に活かすことができた。 また、いわての復興教育の教育的価値の具現化を構想した指導計画を作成したことにより、体験活動や各教科などとの関連が密に図られた実践となった。 実践の成果は、パンフレットやホームページにより情報発信が行われ、各学校に普及・還元することができた。			実績値	指定校 1校
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
400,000	318,274	300,000			0	18,274

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費	
事業名		教育研究所費			No.26	単位：円
事業内容	市内小・中学生（小2～小6、中1～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査（一部）を実施する。その結果をもとに各研究部会を開催し、課題に向けての調査や研究、発表を行い各学校へ還元する。 また、地域理解の推進と郷土を愛するこころを育むため、地域の教材を活用した社会科副読本を作成する。（小学生用は印刷製本し配布。中学生用はWeb版と教育課程との関連表を作成）			計画値	標準学力検査（NRT）及び知能検査 1回 教育研究発表会 1回 環境・科学研究発表会 1回	
	成果	標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施し、その検査結果を各中学校区及び各校で分析し、その後の授業改善に役立てることができた。 市全体での学力向上に係る取り組みについて、次の視点による新たな体制を構築した。 ・義務教育9年間を見取る。 ・中学校区ごとに小中が連携する。 1月に開催した教育研究発表会では、その成果を中学校区ごとに発表し合い、市内全教職員で学力向上に係る方向性を共有した。			実績値	標準学力検査（NRT）及び知能検査 1回 教育研究発表会 1回 環境・科学研究発表会 1回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,344,000	8,568,263					8,568,263

10款	教 育 費	1 項	教 育 総 務 費	3 目	教 育 研 究 所 費	
事業名		学力向上スタートダッシュ事業費			No.27	単位：円
事業内容	児童生徒の「学力向上」に係り、中長期的な視野のもと、事業を推進していくための基盤づくりのための先行事業として、市立学校教員が授業改善に係る先進地視察を行うもの。			計画値	先進地視察 1回	
	成果	児童生徒の「学力向上」に係り、中長期的に事業推進していくための基盤づくりのための事業として、各校で授業の研究及び改善等の中心となる教員が授業実践に係る先進地視察を実施した。 1回目 平成26年1月16日から1月18日まで（2泊3日） 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜小学校 参加者 15名 2回目 平成26年2月21日から2月23日まで（2泊3日） 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 参加者 14名			実績値	先進地視察 2回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
400,000	383,490					383,490

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	4目	育 英 事 業 費		
事業名		育英事業費			No.28	単位：円	
事業内容	遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。 また、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。			計画値	新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 5人 継続奨学生 大学生等 53人		
	成果	新たに30人（大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者）を決定し、継続貸与者49人と合わせて79人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。 貸付状況 ・新規大学生等 30人 14,320,000円 ・継続大学生等 49人 23,160,000円 計 79人 37,480,000円			実績値	新規奨学生採用数 大学生等 30人 継続奨学生 大学生等 49人	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
38,088,000		37,590,835				37,590,835	0

10款	教 育 費	1項	教 育 総 務 費	5目	公 舎 管 理 費		
事業名		公舎管理費			No.29	単位：円	
事業内容	教職員住宅の適切な維持管理を行う。			計画値	教職員住宅 12棟		
	成果	教職員住宅を適切に維持管理し、及び必要に応じた修繕を行い、教職員の居住環境の改善に努めた。 ・需用費（修繕料） 481,950円（延べ7件） ・建物火災保険料 24,195円 教員住宅貸付料（歳入） 838,147円			実績値	教職員住宅 12棟 （9棟入居）	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
600,000		506,145				506,145	0

10款	教 育 費	2項	小 学 校 費	1目	学 校 管 理 費		
事業名		小学校管理費			No.30	単位：円	
事業内容	市内小学校の運営に要する一般維持管理費用。			計画値	小学校 11校 学級数 84学級 児童数 1,346人		
	成果	適正な予算執行のもと、市立小学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 62,263,262円 ・役員費 6,282,660円 ・委託料 11,179,596円 ・使用料及び賃借料 6,035,626円 ・工事請負費 4,462,500円 等			実績値	小学校 11校 学級数 84学級 児童数 1,346人	
予算額		決算額		財 源 内 訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
92,689,000		91,552,947				917,662	90,635,285

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名		学校保健管理費（小学校）			No.31	単位：円
事業内容	児童及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。 また、学校保健安全法の規定に基づき、小学校入学予定の幼児を対象に健康診断等を実施し、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。			計画値	児童数 1,346人 教職員数 129人 就学時健診対象幼児数 252人	
	成果	児童及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 （健康診断等実施項目） 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診（1～3、5年）、寄生虫卵検査（1～3年）、心臓健診（1・4年）、生活習慣病予防健診（4年）、脊柱側弯健診（5年）、尿検査（全児童）、教職員健診（全教職員）、教職員胃健診（35歳以上） また、10月から11月に実施する就学時健康診断を、市内各保育園・幼稚園の秋の定期健診と同時実施し、子どもたちの心身の状況を把握し義務教育の円滑な実施に資することができた。			実績値	児童数 1,346人 教職員数 129人 就学時健診対象幼児数 252人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,421,000	8,711,297		20,000			8,691,297

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		通学対策費（小学校）			No.32	単位：円
事業内容	遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 小友、附馬牛、土淵、宮守、達曽部、鱒沢小学校に通学する児童の一部を対象に、スクールバス等の運行。 2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスの定期券を配付、下校便の運行。 3 青笹小学校に通学する中沢地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行。 4 遠距離（4km以上）から通学する児童を対象に、通学費を助成。 5 教育課程における児童移動のためのスクールバスの運行。			計画値	・スクールバス等の運行 バス 6台 ワゴン 3台 タクシー 1台 路線バス 1台 ・遠距離通学費補助金対象児童 40人	
	成果	遠距離から通学する児童のため、スクールバス等を運行し、通学の負担の軽減を図った。 また、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離児童に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。			実績値	・スクールバス等の運行 バス 6台 ワゴン 3台 タクシー 1台 路線バス 1台 ・遠距離通学費補助金支給児童 19人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
24,405,000	23,442,656					23,442,656

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		教材整備費（小学校）			No.33	単位：円
事業内容	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。			計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上	
	成果	各小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。 ・教材備品購入費 2,624,830円 ・図書購入費 2,916,439円 ・パーソナルコンピュータ借上料 7,994,580円 ・その他 269,242円			実績値	・教材備品購入 73品 ・図書購入 1,598冊 ・パーソナルコンピュータ借上 307台
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
13,881,000	13,491,078					13,491,078

10款		教育費		2項		小学校費		2目		教育振興費	
事業名		就学援助費（小学校）						No.34		単位：円	
事業内容	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。						計画値	児童数		171人	
	成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 149人 1,574,350円 通学用品費 133人 273,057円 新入学用品費 16人 318,400円 校外活動費 149人 299,378円 修学旅行費 32人 664,430円 学校給食費 149人 6,142,745円 学校病医療費 44人 508,939円 学校病医療通院費 10人 4,080円 ※上記のうち被災児童15人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金により10/10（822,000円）が交付された。						実績値	支給児童数		150人
予算額		決算額		財源内訳							
				国県支出金		地方債		その他		一般財源	
10,468,000		9,785,379		879,000						8,906,379	

10款		教育費		2項		小学校費		2目		教育振興費	
事業名		特別支援教育関係費（小学校）						No.35		単位：円	
事業内容	特別支援学級の活動に対する支援を行う。						計画値	・特別支援学級 対象校 7校10学級 対象児童 21人			
	成果	特別支援学級を開設する小学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。						実績値	・特別支援学級 対象校 7校10学級 対象児童 21人		
予算額		決算額		財源内訳							
				国県支出金		地方債		その他		一般財源	
598,000		488,118								488,118	

10款		教育費		2項		小学校費		2目		教育振興費	
事業名		特別支援教育就学奨励費（小学校）						No.36		単位：円	
事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。						計画値	児童数		16人	
	成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 12人 260,100円 学用品費 12人 66,600円 新入学用品費 3人 29,850円 校外活動費 2人 3,085円 修学旅行費 1人 8,700円						実績値	支給児童数		12人
予算額		決算額		財源内訳							
				国県支出金		地方債		その他		一般財源	
503,000		368,335		126,000						242,335	

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		理科教育設備整備事業費（小学校）			No.37	単位：円
事業内容	学習指導要領が改訂され、平成23年度から理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことに伴い、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、小学校における理科教育の推進を図る。			計画値	平成25年度整備 青笹小学校 上郷小学校 宮守小学校 達曽部小学校	
	成果	青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校及び達曽部小学校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。 【主な整備教材】 ・青笹小学校 …小型百葉箱、振り子実験器 等 ・上郷小学校 …百葉箱、デジタル気体チェッカー 等 ・宮守小学校 …大型振り子実験器、実験用ガスコンロ 等 ・達曽部小学校…デジタル気体チェッカー、定温期 等			実績値	教材備品整備品目数 青笹小学校 8品目 上郷小学校 8品目 宮守小学校 5品目 達曽部小学校 5品目
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,005,000	1,004,510	500,000				504,510

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（小学校）			No.38	単位：円
事業内容	小学校体育協会及び小学校音楽教育協議会に対して事業補助を行い、市内小学校児童を対象とした体育・文化事業に対して支援を行う。			計画値	事業補助団体 2団体	
	成果	各団体が主催する大会等に対して事業補助を行うことで、小学校体育の振興及び音楽に親しむ心の育成を支援することができた。 ・小学校体育協会 小学校水泳記録会、小学校陸上記録会 ・小学校音楽教育協議会 小学校音楽祭			実績値	事業補助団体 2団体
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
913,000	913,000					913,000

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		教育研究指定校費（小学校）			No.39	単位：円
事業内容	児童の学力向上及び教員の授業力向上を目的とする。 研究指定校 平成24・25年度 遠野北小学校、達曽部小学校 平成25・26年度 附馬半小学校、青笹小学校、宮守小学校 指定2年目となる学校では、学校公開を行い、市内、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 指定1年目の2校は、次年度の学校公開に向けて、教科の研究を行			計画値	研究指定校 4校 学校公開研究会開催 2回	
	成果	研究指定校2年目となる学校では、学校公開研究会において各校の研究主題に基づいた研究成果を発表した。 ・遠野北小学校 算数科における思考力を高める指導のあり方～思考型に応じた学び合いの工夫を通して～ ・達曽部小学校 確かに読む力を育てる指導の在り方～読みの視点を明確にした授業実践を通して～ 研究指定1年目となる学校では、平成26年度に開催する学校公開研究会に向けた取り組みを行った。			実績値	研究指定校 5校 学校公開研究会開催 2回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
520,000	510,586					510,586

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		プール改修事業費（小学校）			No.40	単位：円
事業内容	老朽化したプール設備を計画的に更新し、児童が安全かつ安心して水泳実習を受けることができる環境整備を図る。 ・ 鱒沢小学校プールろ過器更新、給水設備工事			計画値	鱒沢小学校 ろ過器更新工事 プール給水設備 工事 プール鉄柵改修 工事 水道加入負担金	
	成果	事業計画に基づき、鱒沢小学校プールろ過器の更新及び給水設備工事等を行い、教育環境の整備を図った。 ろ過器更新工事 7,567,350円 給水管他改修工事 2,908,500円 鉄柵改修工事 740,250円 水道加入負担金 500,000円			実績値	鱒沢小学校 ろ過器更新工事 プール給水設備 工事 プール鉄柵改修 工事 水道加入負担金
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
12,009,000	11,716,100			10,600,000		1,116,100

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		遠野小学校屋内運動場改築整備事業費			No.41	単位：円
事業内容	新屋内運動場が平成26年3月に完成したことから旧屋内運動場の解体等を実施し、教育環境の整備を図る。			計画値	旧屋内運動場解体工 事 備品購入	
	成果	旧屋内運動場解体工事が平成25年9月13日に完了し、昨年度の屋内運動場改築工事と併せ遠野小学校の教育環境の整備を図った。 旧屋内運動場解体工事 12,915,000円 舞台幕設置工事 外付帯工事 2,538,900円 備品購入等 3,809,850円			実績値	旧屋内運動場解体工 事 908㎡ 舞台幕設置工事 備品購入
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
19,287,000	19,263,750					19,263,750

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		附馬牛小学校整備事業費			No.42	単位：円
事業内容	平成25年3月に閉校した旧附馬牛中学校施設を小学校施設として活用するため、校舎の改修を図る。 平成25年度 実施設計業務 平成26年度 校舎大規模改造工事、外交工事、工事監理業務、 備品購入			計画値	実施設計業務	
	成果	教職員及びPTAとの協議を重ね、既存の建物を利用した校舎利用の実施設計を作成することができた。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度に予定していた事業（大規模改造工事、備品購入等）を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。			実績値	実施設計業務
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
146,805,000	9,450,000					9,450,000

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）			No.43	単位：円
事業内容	平成25年3月に閉校した旧綾織中学校の校舎の一部を小学校の特別教室棟に改修し、教育環境の整備を図る。 なお、旧綾織中学校施設の一体的な活用について、地域との協議により最終方針を決定する必要があることから、実施設計期間を延長したため平成25年度に事業を繰り越したもの。				計画値	特別教室棟改修設計業務
成果	既存校舎を活用し、児童の動線や施設管理が効率的に行えるような教室の配置や機器の設置など、学校の意見を取り入れた実施設計を作成し、改修工事を実施した。				実績値	特別教室棟改修設計業務
予算額	決算額	財 源 内 訳				
5,000,000	4,725,000	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					4,725,000	

10款	教 育 費	2 項	小 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		綾織小学校学びのプラットフォーム整備事業費（繰越明許費）			No.44	単位：円
事業内容	「学びのプラットフォーム構想」に基づき、平成25年3月に閉校した旧綾織中学校校舎の大規模改造工事を行い、小学校の特別教室棟として活用する。 なお、平成24年度の国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、25年度事業を前倒して予算措置し、25年度に繰り越したものの。				計画値	大規模改造工事 工事監理業務 遊具購入
成果	実施計画に基づき、旧綾織中学校の普通教室等校舎の一部を、音楽室、理科室及び家庭科室並びにパソコン教室等の特別教室に改修するとともに、校庭にはブランコやジャングルジム等の遊具を設置し、教育環境の一体的な整備に努めた。 特別教室棟改修工事 54,509,700円 うち建築工事 34,818,000円 うち機械工事 19,691,700円 工事監理業務 1,680,000円 備品購入 2,917,556円 他				実績値	大規模改造工事 835.68㎡ 工事監理業務 備品購入 遊具5基 体育用具等
予算額	決算額	財 源 内 訳				
67,675,000	61,168,143	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
		20,617,000	38,600,000		1,951,143	

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	1 目	学 校 管 理 費	
事業名		中学校管理費			No.45	単位：円
事業内容	市内中学校の運営に要する一般維持管理費用。				計画値	中学校 3校 学級数 29学級 生徒数 721人
成果	適正な予算執行のもと、市立中学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 30,438,940円 ・役務費 2,719,068円 ・委託料 4,642,653円 ・使用料及び賃借料 1,323,382円 等				実績値	中学校 3校 学級数 29学級 生徒数 721人
予算額	決算額	財 源 内 訳				
44,312,000	39,794,913	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
				347,966	39,446,947	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		1 目		学 校 管 理 費	
事業名		学校保健管理費（中学校）						No.46		単位：円	
事業内容	生徒及び教職員の健康診断、衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育に関する活動を円滑に行う。						計画値	生徒数 721人 教職員数 55人			
	成果	生徒及び教職員の健康の保持増進及び疾病の予防に努め、健康教育の推進を図った。 (健康診断等実施項目) 内科・眼科・歯科健診（全生徒）、耳鼻科健診（1年）、貧血検査（1・2年）、心臓健診（1年）、生活習慣病予防健診（1年）、脊柱側弯検診（1年）、尿検査（全生徒）、教職員健診（全教職員）、教職員胃検診（35歳以上）						実績値	生徒数 721人 教職員数 55人		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
4,837,000		4,305,145								4,305,145	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		通学対策費（中学校）						No.47		単位：円	
事業内容	遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 遠野中学校、遠野東中学校及び遠野西中学校に通学する生徒の一部を対象に、スクールバス等の運行。 2 遠距離（6km以上）から通学する生徒を対象に通学費を助成。 3 教育課程における生徒移動のためのスクールバスの運行。						計画値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離生徒通学費補助対象生徒 25人			
	成果	遠距離から通学する生徒のため、スクールバスを運行し、通学の負担の軽減を図った。 また、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離生徒に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 なお、中学校再編成によりスクールバスの乗車範囲が広がったことから、遠距離通学費補助金対象生徒が減となった。						実績値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離生徒通学費補助対象生徒 5人		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
49,249,000		47,242,854								47,242,854	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		教材整備費（中学校）						No.48		単位：円	
事業内容	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。						計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上			
	成果	各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入に係る予算を確保し、教育環境の充実を図った。 また、パーソナルコンピュータの借上げを行い、情報教育の推進に寄与した。 ・教材備品購入費 1,250,847円 ・図書購入費 2,123,018円 ・パーソナルコンピュータ借上料 7,521,060円 ・その他 178,707円						実績値	・教材備品購入 34品 ・図書購入 576冊 ・パーソナルコンピュータ借上 193台		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
12,029,000		11,073,632								11,073,632	

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費																									
事業名		就学援助費（中学校）			No.49	単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	生徒数 111人																									
	成果	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費</td> <td>92人</td> <td>1,953,000円</td> </tr> <tr> <td>通学用品費</td> <td>68人</td> <td>143,220円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>24人</td> <td>549,600円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>92人</td> <td>196,200円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>37人</td> <td>2,804,230円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>92人</td> <td>4,491,185円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費</td> <td>18人</td> <td>284,705円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費</td> <td>1人</td> <td>540円</td> </tr> </table> <p>※上記のうち被災生徒2人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金により10/10（174,000円）が交付された。</p>			学用品費	92人	1,953,000円	通学用品費	68人	143,220円	新入学用品費	24人	549,600円	校外活動費	92人	196,200円	修学旅行費	37人	2,804,230円	学校給食費	92人	4,491,185円	学校病医療費	18人	284,705円	学校病医療通院費	1人	540円	実績値	支給生徒数 95人
学用品費		92人	1,953,000円																											
通学用品費	68人	143,220円																												
新入学用品費	24人	549,600円																												
校外活動費	92人	196,200円																												
修学旅行費	37人	2,804,230円																												
学校給食費	92人	4,491,185円																												
学校病医療費	18人	284,705円																												
学校病医療通院費	1人	540円																												
予算額	決算額	財 源 内 訳																												
11,139,000	10,422,680	国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
		328,000			10,094,680																									

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育関係費（中学校）			No.50	単位：円
事業内容	特別支援学級の活動に対する支援を行う。			計画値	特別支援学級 対象校 3校4学級 対象生徒 6人	
	成果	特別支援学級を開設する中学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。			実績値	特別支援学級 対象校 3校4学級 対象生徒 6人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
418,000	329,394	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					329,394	

10款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	2 目	教 育 振 興 費	
事業名		特別支援教育就学奨励費（中学校）			No.51	単位：円
事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、学用品費、新入学用品費、修学旅行費、校外活動費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。			計画値	生徒数 12人	
	成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。			実績値	支給生徒数 8人
学校給食費		8人	200,600円			
学用品費	8人	60,767円				
修学旅行費	6人	164,400円				
予算額	決算額	財 源 内 訳				
547,000	425,767	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		146,000			279,767	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		理科教育設備整備事業費（中学校）						No.52		単位：円	
事業内容	学習指導要領が改訂され、平成24年度からの理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことに伴い、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、中学校における理科教育の推進を図る。						計画値	平成25年度整備 遠野中学校 遠野東中学校 遠野西中学校			
	成果	新設中学校3校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。 【主な整備教材】 ・遠野中学校…力学的エネルギー実験器、生物顕微鏡 等 ・遠野東中学校…DVD資料教材、鉄製スタンド 等 ・遠野西中学校…慣性実験器、冷陰式クルックス管 等						実績値	教材備品整備品目数 遠野中学校 4品目 遠野東中学校 4品目 遠野西中学校 7品目		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
1,008,000		1,007,820		500,000						507,820	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		2 目		教 育 振 興 費	
事業名		体育・文化行事奨励費（中学校）						No.53		単位：円	
事業内容	中学校体育連盟に対して事業補助を行うとともに、県大会、東北大会及び全国大会への選手派遣についての助成を行う。 中学校文化連盟に対する事業補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。						計画値	事業補助団体 2団体			
	成果	中学校体育連盟が主催する地区大会開催に係る事業補助を行った。また、各競技での県大会、東北大会及び全国大会に出場する選手の交通費、宿泊費の一部を補助することで中学生の体育活動を支援することができた。 中学校文化連盟が主催する、遠野地区中学校総合文化祭開催のための事業補助を行い、中学生の文化活動の更なる充実を図った。						実績値	事業補助団体 2団体		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
3,807,000		3,579,000								3,579,000	

10 款		教 育 費		3 項		中 学 校 費		3 目		学 校 建 設 費	
事業名		遠野中学校校舎改築整備事業費						No.54		単位：円	
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の改築工事（第2期）に着手し、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。 【事業の概要】 第2期改築工事（平成25年12月～平成26年8月まで） 多目的教室 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡ 第2期改築工事（平成25年10月～平成26年6月まで）（予定） 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡ 【年度別計画】 平成25年度 校舎建築、旧校舎解体、倉庫・駐輪場建築工事 平成26年度 校舎改築、旧校舎解体 平成27年度 屋内運動場改修、外構工事						計画値	校舎改修工事 旧校舎解体工事 倉庫・駐輪場建築工事			
	成果	旧校舎を解体し、2ヶ年の継続事業として校舎改築（第2期）工事に着手し、基礎工事を進めた。（進捗率17%） また、倉庫・駐輪場建築工事を行い、教育環境の整備に努めた。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度分の校舎改築工事予算の一部を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。						実績値	旧校舎解体 3,878㎡ 旧校舎改築工事 倉庫・駐輪場建築工事 鉄骨造 119.24㎡ 駐輪場（385台分） アスファルト舗装 110㎡ 天然芝舗装 973㎡ 植栽等		
予算額		決算額		財 源 内 訳							
				国県支出金		地 方 債		そ の 他		一般財源	
349,833,000		110,699,800		21,506,000		75,900,000				13,293,800	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		遠野東中学校整備事業費			No.55	単位：円
事業内容	倉庫・駐輪場建築及びバススクールバス待機所周辺の外構工事を行い、教育環境の充実を図る。 また、新設されたソフトテニス部のテニスコートの整備を図る。			計画値	倉庫建築工事 外構工事 ソフトテニスコート整備	
成果	外構工事及びソフトテニスコートを整備し、教育環境の整備に努めた。 なお、倉庫・駐輪場建築工事は、再生可能エネルギー設備導入事業を活用し、太陽光パネルを屋根に積載するため仕様変更を行ったことにより入札発注時期が遅れたため、平成26年度に繰り越した。			実績値	外構工事 バス待機所アスファルト舗装 ソフトテニスコート整備	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
11,035,000	2,874,200				2,874,200	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		遠野西中学校整備事業費			No.56	単位：円
事業内容	中学校再編成後における教育環境の整備及び市内中学校施設の均一を図るため、教育環境の整備を図る。			計画値	耐震診断 実施設計業務委託 中庭整備	
成果	校外学習及びクラブ活動等に活用するため中庭の一部をアスファルト舗装し、教育環境の整備に努めた。 また、旧宮守学校給食センターを多目的教室棟に改修するため耐震診断を実施し、実施設計業務を委託した。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度事業を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。			実績値	耐震診断 実施設計業務委託 中庭整備 アスファルト舗装 510㎡	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
80,870,000	5,950,350				5,950,350	

10 款	教 育 費	3 項	中 学 校 費	3 目	学 校 建 設 費	
事業名		遠野中学校改築整備事業費（繰越明許費）			No.57	単位：円
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の建て替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。 なお、平成24年度の国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、25年度に予定していた校舎改築（第2期）工事を前倒して予算措置し、25年度に繰り越したもの。 【事業の概要】 第2期改築工事（平成25年12月から平成26年8月まで） 多目的教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、 鉄骨造 998.04㎡ 【年度別計画】 平成25年度 校舎改築、旧校舎解体、倉庫・駐輪場建築工事			計画値	旧校舎解体工事 校舎建築工事（第2期）	
成果	旧校舎を解体し、2ヶ年の継続事業として校舎改築（第2期）工事に着手し基礎工事を進めた。（進捗率17%）			実績値	旧校舎解体 校舎建築工事（第2期）	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
58,269,000	58,269,000	32,214,000	25,800,000		255,000	

10款	教 育 費	4 項	幼 稚 園 費	1 目	幼 稚 園 費	
事業名		幼稚園運営事業費			No.58	単位：円
事業内容	小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培う教育を行う。			計画値	市立幼稚園定員 宮守 70人 達曾部 35人 鱈沢 35人	
成果	幼児それぞれの興味や関心に応じた遊び等の体験を通し、学びの楽しさに気づいたり、積極的に物事に係わりようとしていたりする気持ちを持つよう指導したことで、幼児の生活や学習の基礎を養うことができた。			実績値	年度末現在入園者数 宮守 15人 (11%) 達曾部12人 (34%) 鱈沢 4人 (11%) ※括弧内は定員に対する充足率	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
4,148,000	3,694,371			3,548,520	145,851	

10款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名		生涯学習一般事務費			No.59	単位：円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の運営に係る一般事務を行う。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付する。 ・加盟団体（岩手県社会教育連絡協議会及び岩手県更生保護大会）に対する負担金 			計画値	補助金・負担金 4件	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する一般事務を行い、円滑な運営を図った。 ・岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取組を支援した。 			実績値	補助金・負担金 4件	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
311,000	257,845				257,845	

10款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費	
事業名		生涯学習のまちづくり推進費			No.60	単位：円
事業内容	1 各地区センターで開催する学習講座等開催経費。 2 生涯学習のほか、国際交流事業等を民間活力を生かした振興を図るため業務委託する。			計画値	1 地区センター主催生涯学習講座 45回 2 業務委託の実施	
成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手作り講座やスポーツ教室など市民ニーズの把握に努め、生涯学習講座を開催した。 2 市民ニーズに応じた生涯学習の展開を図るため、遠野市教育文化振興財団に事業を委託した。 I T講座や郷土理解講座、国際理解講座、青少年活動サポート事業、国際交流事業など多彩な講座等を実施し、生涯学習の機会を提供した。			実績値	1 地区センター主催生涯学習講座 50回 2 業務委託の実施 委託先：(一財)遠野市教育文化振興財団	
予算額	決算額	財 源 内 訳				
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
19,013,000	17,882,531			187,900	17,694,631	

10款	教 育 費	5項	社 会 教 育 費	1目	社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		青少年活動サポート事業費			No.61	単位：円
事 業 内 容	<p>本年度の青少年活動サポート事業は、下記の3つを柱とする活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式「はたちのつどい」 ・各種団体への補助及び補助金交付 (遠野わらすっこまつり、遠野市青年団体協議会、全国青年大会派遣補助) 				計画値	成人式対象者 301名
	成 果	<p>成人式の実施のほか、地域の子どもの健全育成を目的として実施する「遠野わらすっこまつり」や、青年団体の活動支援を行うことで、青少年の伸びやかな成長に取り組んだ。</p> <p>▽「成人式（はたちのつどい）」</p> <p>【内容】 主役となる新成人が成人式実行委員会を立上げ、企画・立案及び式の進行をすることで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出をお祝いする。</p> <p>【成果】 実行委員が自分たちで考えたイベントを行うことにより、記念になったほか、行政がサポート役となることで「市民協働」での成人式を行うことができた。 成人者 234人（参加率77.7%）、来賓 50人、一般 368人 総計 650人</p> <p>▽「各種団体への補助及び補助金交付」</p> <p>【内容】 わらすっこまつりを主催する「遠野わらすっこまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、わらすっこまつり開催の支援をした。</p> <p>【成果】 遠野わらすっこまつりの開催に当たっては、児童館や遠野レクリエーション協会などの関係団体で実行委員会を結成し開催した。 柏木平リバーサイドまつり、全国スポーツ流鏝馬競技大会との同時開催は3回目となり、幅広い年代が来場し、家族のふれあいを深め楽しめる機会を提供し、もって青少年の健全育成に寄与した。</p>				実績値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
1,967,000	1,273,691	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
					1,273,691	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		芸術文化振興事業費		No.62	単位：円
事業内容	1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。	計画値	市民センター自主事業の公演数 3回		
	2 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。		芸術文化協会加盟団体の自主事業数 13回		
成果	3 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。	実績値	市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,940人		
	4 遠野市民センターバレースタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実に努め、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。		市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,500人		
事業内容	1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めた。 (1)宝くじおしゃべり音楽館(8月4日(日)鑑賞者640人) (2)松竹新喜劇公演 三婆 (9月5日(木)鑑賞者654人) (3)TSUKEMEN LIVE 2013 (11月16日(土)鑑賞者286人)	実績値	市民センター自主事業の公演数 3回		
	2 芸術文化協会加盟15団体が自主事業として発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。 (1)第8回遠野市民芸術祭 ○10月19日 合同茶会 参加者 45人、鑑賞者 340人 ○11月2日、3日 ・舞台合同発表会 参加者414人、鑑賞者 855人 (31団体) ・総合展示会、菊花展 参加者446人、鑑賞者1,392人 (22団体4個人) (2)芸術文化協会等主催事業 ○芸術文化協会加盟団体の自主事業数 ・大ホール5回 参加者380人、鑑賞者2,700人 ・中ホール2回 参加者 50人、鑑賞者 50人 ・みやもりホール5回 参加者130人、鑑賞者 680人 ・その他会場4回 参加者104人、鑑賞者 555人		芸術文化協会加盟団体の自主事業数 16回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 2,099人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,880人		
成果	3 第39回市民の舞台遠野物語ファンタジー「河童のやんたろう」の開催 2月22日、23日の3回公演 参加者370人、鑑賞者1,800人	実績値			
	4 遠野市民センターバレースタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実に努め、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。 (1)遠野市民センターバレースタジオ ○毎週、金・土曜日の通常レッスン ○第36回発表会 11月24日 参加者 98人、鑑賞者 454人 (2)遠野少年少女合唱隊 ○毎週土曜日の通常レッスン ○第23回発表会 12月15日 参加者 62人、鑑賞者 54人				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
17,964,000	16,693,817	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				12,429,700	4,264,117

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社 会 教 育 総 務 費
------	-------	-----	-----------	-----	---------------

事 業 名		と・お・のいきいき参画プラン推進事業費		No.63	単位：円
事業内容	個人の人権が尊重され、性別にとらわれることなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について市民への意識啓発を行う。	計画値	補助金 1件 講演会 1回		
	「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について、市民に対しハートフルコンサート等での意識啓発活動を実施した。 また、「自分らしく生きる」ことをテーマに講演会を実施し、みんなが素敵に生きるためお互いに尊重しあうことの大切さ、男女平等社会の実現について考える機会とした。		実績値	補助金 1件	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
289,000	259,835	国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
					259,835

10款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		1 目		社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		都市交流推進事業費						No.64		単位：円	
事業内容	<p>1 武蔵野市との相互訪問による児童交流を行うことにより、それぞれの地域特性を活かした体験によるひとづくり・まちづくりを進める。</p> <p>2 サレルノ姉妹都市交流により、市民交流や文化交流を実施することで多文化共生への理解や国際協力の啓蒙を図る。</p>						計画値	<p>武蔵野市児童交流受入 児童20人引率4人</p> <p>サレルノ姉妹都市交流サレルノ国際映画祭遠野賞贈呈</p>			
	成果	<p>1 武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成25年度は武蔵野市から児童11名、引率4人を受け入れ、2泊3日の日程で交流事業を実施した。柏木平での自然散策や遠野市児童と共に稲荷穴鍾乳洞探検、ふるさと村ウォークラリー、乗馬体験等を通じて、遠野の魅力を体感し児童間の友情を深めることができた。</p> <p>2 サレルノ国際映画祭に遠野賞（切り絵）を贈呈した。平成26年度に姉妹都市締結30周年を迎えるサレルノ市への市民訪問ツアー実行委員会の開催や、市民向け「サレルノ講座」を実施し、市民等への事業の周知を図った。</p>						実績値	<p>武蔵野市児童交流 武蔵野市児童11人 武蔵野市引率4人 遠野市児童 22人</p> <p>サレルノ姉妹都市交流サレルノ国際映画祭遠野賞（切り絵）贈呈</p>		
予算額		決算額	財 源 内 訳				国県支出金		地 方 債	そ の 他	一般財源
425,000	414,152								414,152		

10款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		1 目		社 会 教 育 総 務 費	
事 業 名		放課後子どもプラン推進事業費						No.65		単位：円	
事業内容	<p>児童館（児童クラブ）・学校・地域と連携し放課後子ども教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに、子どもたちの自主学習の習慣化を図ることを目的に開催する。</p>						計画値	<p>放課後子ども教室 9教室(小学校区 単位)</p>			
	成果	<p>放課後子ども教室は全9小学校区で開催し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣し実施した。1教室あたり平均51日開催。児童の活動の多忙さや、家庭学習は家庭で取り組むものという方針、放課後は十分に遊び時間を過ごしてから学習に取り組むべきである等、児童の状況を鑑みての実施となった。参加児童は、学習アドバイザーや安全管理員の指導・見守りのもと学習に取り組み、地域の方々との交流のなかで意欲的に学習に励み、家庭学習の定着化に資することができた。</p>						実績値	<p>放課後子ども教室 9教室(小学校区 単位) 延べ11,858人参加</p>		
予算額		決算額	財 源 内 訳				国県支出金		地 方 債	そ の 他	一般財源
2,583,000	2,500,846	2,500,000							846		

10款		教 育 費		5 項		社 会 教 育 費		2 目		公 民 館 費	
事 業 名		公民館一般管理費						No.66		単位：円	
事業内容	<p>公民館施設を適切に維持管理し、地域における生涯学習の拠点として、地域住民が集い、安全かつ快適に地域づくり活動や学習活動を行うことができる環境をつくる。</p>						計画値	<p>平成25年度公民館 使用料 計画900,000円 平成24年度実績 利用件数 3,675件 利用人数 69,135人</p>			
	成果	<p>維持管理に必要な保守点検等を実施し、市民の快適な利用に寄与した。</p>						実績値	<p>平成25年度公民館 使用料 実績 799,590円 平成25年度実績 利用件数 3,864件 利用人数 72,327人</p>		
予算額		決算額	財 源 内 訳				国県支出金		地 方 債	そ の 他	一般財源
39,188,000	38,420,496							799,590	37,620,906		

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	2 目	公 民 館 費	
事業名		文化交流施設管理費			No.67	単位：円
事業内容	生涯学習の場、交流の場としてのサービスの向上を図る。 また、民間活力を活かすため、指定管理者による管理を行い、効果的・効率的な管理運営を行う。			計画値	平成24年度実績 利用者数 22,114人 (内訳) ホール 7,468人 会議室等 14,076人 展示室 570人	
	成果	市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。 指定管理者の能力を活用することにより、市民が快適に施設を利用することができた。			実績値	平成25年度実績 利用者数 19,453人 (内訳) ホール 6,388人 会議室等 12,526人 展示室 539人
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
17,999,000	17,838,000					17,838,000

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		文化財調査保護費			No.68	単位：円
事業内容	市内文化財調査により文化財の市指定を推進し、郷土の文化財保護と周知継承に努め、市民の郷土理解と郷土愛の醸成を図る。 郷土芸能の保存継承を目的として映像記録保存を行うと共に、保存団体の活動を支援するため、必要な用具等の整備に対して補助する。			計画値	文化財保護審議会 2回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能補助 5件 市指定文化財説明板設置件数(累計) 64基	
	成果	指定文化財天然記念物について滅失により一部指定解除(日枝神社のアカマツ)、指定解除(砥森神社のアカマツ)を行った。市指定文化財早池峯神社黒門萱葺屋根葺き替え修理に対し1,075,000円を補助した。国登録文化財「川前別家」の保護を目的としてキクイムシ駆除を行った。 また、重要文化財千葉家住宅周辺の一部と日枝神社のアカマツに松くい虫被害木が確認されたことから、樹幹注入、伐倒駆除を行い文化財保護のための防対策を講じた。 郷土芸能の備品整備等に対して5団体(青笹しし踊り、長野獅子踊り、塚沢早池峰神楽、鱒沢神楽、平倉神楽)に補助すると共に、映像記録を実施。郷土芸能発表会(郷土芸能共演会、神楽共演会)への支援を行った。			実績値	文化財保護審議会 2回 民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能団体補助 5件 指定文化財説明板設置件数(累計) 91基 松くい虫対策 伐倒駆除処理材積 42.61㎡ 樹幹注入 14本
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
7,497,000	6,214,013	499,653			17,894	5,696,466

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		埋蔵文化財発掘調査費			No.69	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査や試掘調査を実施し、その調査記録整理作業を行う。整理終了後、調査報告書を作成し、文化財の記録保存を図る。 また、埋蔵文化財に関する普及啓発事業を実施し、文化の向上に資する。			計画値	栃内野崎遺跡発掘調査室内整理及び報告書 300部 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の調査 文化財教室の開催	
	成果	平成24年度に個人住宅建築に伴い実施した栃内野崎遺跡調査に関する室内整理を完了し、発掘調査報告書としてまとめ、遺跡の記録保存を図って新規発見された歴史資料を整備した。 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護の両立に努めた。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する普及啓発に努めた。			実績値	室内整理完了 発掘調査報告書 300部 遺跡照会回答 154件 試掘調査 11ヵ所 文化財教室開催 2回(参加者43人)
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
12,535,000	12,328,301	4,485,000		0	0	7,843,301

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		文化的景観保存事業費			No.70	単位：円
事業内容	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた本市独特の景観を将来に残していくため、国選定重要文化的景観「遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落」の保護及び活用を図る。			計画値	「遠野の景観」保存調査委員会 2回 山口集落民族調査 1件 パンフレット作成 5000部 山口集落景観点検 2回 景観活用地域づくり研修 1回	
	成果	1 文化的景観の保護 (1) 「遠野の景観」保存調査委員会で、選定地の問題対処について協議した (2) これまでの調査成果を生かしパンフレットを作成。地元土淵町及び市内観光施設等に配布し、景観保護の啓発と国選定地域の周知を図った。 (3) 岩手大学と住民の連携により景観点検を実施し問題点を洗い出した。 2 文化的景観の活用 (1) 土淵山口集落の食文化調査を実施し、水車小屋等の食に関する景観要素の活用に向けた準備を進めた。 (2) 住民が先進地視察することにより、土淵山口集落の景観を生かした地域づくりの手法を研修することができた。			実績値	「遠野の景観」保存調査委員会 1回 山口集落民族調査 1件 パンフレット作成 5000部 山口集落景観点検 2回 景観活用地域づくり研修 1回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
845,000	713,957	0	0	0	713,957	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		千葉家重要文化財指定整備活用事業費			No.71	単位：円
事業内容	遠野市を代表する貴重な文化財である国指定重要文化財「千葉家住宅」公有化後の保護と安全管理に必要な応急的修理、環境整備を行うと共に、適切な維持管理体制を構築して根本修理事業開始までの間、暫定的公開活用を図る。 また、修復事業の導入及び管理活用体制整備に向けた関係者協議を実施し次年度以降の計画に反映させる。			計画値	入場者数(7～3月) 16,660人 受付管理業務委託 9ヶ月 ハセ小屋応急工事 1件	
	成果	1 公有化後の管理 受付管理業務委託により、適切な通年公開及び日常管理を行うことができた。老朽個所の修繕工事を実施することにより、文化財を保護するとともに見学者の安全を確保することができた。 2 大規模修理事業に向けた準備 文化庁等との協議を進め、平成26年度から国庫補助による防災道路設置事業を導入する準備を整えた。 また、地元関係者や専門家との協議により、平成26年度から保存活用基本構想を策定する体制を整えた。			実績値	入場者数(7～3月) 13,016人 受付管理業務委託 9ヶ月 ハセ小屋応急工事 1件 園路等修繕工事 1件 排水路設置工事 1件 木柵等修繕工事 1件 納屋等応急補修工事 1件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
17,327,000	14,749,373	0	0	4,102,767	10,646,606	

10 款	教 育 費	5 項	社 会 教 育 費	5 目	文化財調査保護費	
事業名		千葉家重要文化財指定整備活用事業費（繰越明許費）			No.72	単位：円
事業内容	遠野市を代表する貴重な文化遺産である、国指定重要文化財千葉家住宅を公有化し、その保護を確実なものとする。公有化手続きに時間を要したため、繰越事業とした。			計画値	【公有化物件】 指定土地 11,763㎡ 指定建物 7棟 未指定土地 231,767.66㎡ 未指定建物 5棟	
	成果	国指定重要文化財「千葉家住宅」を確実に保護していくため、指定土地11,763㎡及び建物7棟と、周辺景観保護のため未指定の土地231,767.66㎡及び建物5棟を一括して公有化した。 なお、財源として公共施設等整備基金から110,000,000円を繰り入れた。			実績値	【公有化物件】 指定土地 11,763㎡ 指定建物 7棟 未指定土地 231,767.66㎡ 未指定建物 5棟
予算額		決算額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
129,645,000	129,644,312	10,742,000		110,000,000	8,902,312	

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費 1 目 保 健 体 育 総 務 費

事業名		スポーツ振興一般事務費		No.73		単位：円	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事務費 ・学校開放事業 ・全国市長会損害賠償補償保険 ・遠野市スポーツ推進委員報酬 			計画値	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業の実施 ・全国市長会損害賠償補償保険加入 ・スポーツ推進委員定例会 4回 		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業を実施し、学校体育施設を市民のスポーツ活動のため開放した。併せて閉校となった旧中学校施設も同様に開放した。 ・全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険に加入した。 ・遠野市スポーツ推進委員が各スポーツイベントへ協力し、スポーツの推進を行った。 			実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放事業実施(市内小・中学校) ・全国市長会損害賠償補償保険全市民加入 ・スポーツ推進委員定例会 4回開催 	
予算額		決算額	財 源 内 訳				
7,003,000	6,801,188	国県支出金	地方債	その他	一般財源	502,530	6,298,658

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費 1 目 保 健 体 育 総 務 費

事業名		競技・スポーツイベントプログラム推進事業費		No.74		単位：円	
事業内容	遠野じんぎすかんマラソン等のイベントスポーツへの参加を推進する。「するスポーツ」＝競技参加、「みるスポーツ」＝応援参加、「ささえるスポーツ」＝ボランティア参加と様々な形での参加、スポーツへの関わりを推進する。			計画値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人		
	成果	遠野じんぎすかんマラソンを8月25日に開催し、運動することの基本となる走ることの推進ができた。沿道での応援援があり、走るだけでなく、「みる・応援する」ことでのスポーツ参加ができた。 また、遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部へ運営補助し、競技スポーツ・少年スポーツの推進、技術向上に努めた。			実績値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,397人 スポーツ団体運営補助 2団体 岩手県体育大会出場 17種目 スキー競技 6人 スポーツ少年団全国大会出場 6単位団	
予算額		決算額	財 源 内 訳				
11,179,000	10,628,239	国県支出金	地方債	その他	一般財源		10,628,239

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費 2 目 学 校 給 食 費

事業名		学校給食事業費		No.75		単位：円	
事業内容	学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間形成などの目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努める。			計画値	米飯回数 小学校 130回 中学校 129回 パン回数 小学校 40回 中学校 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 65%		
	成果	1 年間の給食実施数 小学校170回、中学校168回 2 給食供給人数 2,359人			実績値	平成25年4月3日に遠野市総合食育センターが開所し、8日から学校給食の提供を開始した。新しい調理設備の整備により、これまで提供に制限のあったサラダや和え物、果物などの多彩なメニューを提供することができた。 また、アレルギー専用設備と人的配置により、食物アレルギーを持つ児童生徒に、代替食を提供するなどの対応ができた。 食材にあつては、遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消を推進するとともに、安全安心でおいしい給食の提供ができた。	
予算額		決算額	財 源 内 訳				
208,289,000	207,388,375	国県支出金	地方債	その他	一般財源	108,239,874	99,148,501

10款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	2 目	学 校 給 食 費	
事業名		ふるさと食材給食事業費			No.76	単位：円
事業内容	学校給食に遠野産の農産物を積極的に使用し、安全安心な給食の提供と学校給食の地産地消率の向上を図るとともに、郷土食や地域に関わるメニューを提供することで、郷土の食文化や農畜産業への理解を深める「遠野まるごと給食」を実施する。			計画値	遠野まるごと給食 実施 年3 回	
	成果	季節感のある地域の食材を利用した「遠野まるごと給食」の実施により、地産地消の推進につながった。 また、郷土食や食育推進団体から提案されたメニューを提供するとともに、食材生産農家や給食メニューの提案者を給食に招待し、農業や郷土食についての学習を通じ、児童・生徒が郷土食や農畜産業への理解を深めることができた。			実績値	遠野まるごと給食 実施 年3回
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,800,000	1,799,521					1,799,521

10款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費	
事業名		体育施設管理費			No.77	単位：円
事業内容	体育施設指定管理料及び光熱水費等の管理費用 安全安心な施設利用と適正な維持管理を進める。 ①指定管理委託 ②市民プール代替利用業務委託 ③体育施設関連備品購入			計画値	①平成25年度委託料 ②H25.4月～H26.2月 バス累計台数34台 ③備品購入 14品	
	成果	①指定管理委託 ㈱遠野施設管理サービス 76,585,025円 ②市民プール代替利用業務委託 1,211,100円 ③体育施設関連備品購入 7,233,565円 ④体育施設修繕 4,980,523円 ・体育館防球ネット修繕 432,600円 ・稲荷下運動場消火栓水槽漏水修繕 337,050円 ・運動公園野球場照明自動点灯盤修繕 367,500円 ほか22件			実績値	①平成25年度委託料 ②H25.4月～H26.2月 バス累計台数28台 ③備品購入 サッカーゴール等14品 ④修繕件数 25件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
95,619,000	94,815,000		0		0	94,815,000

10款	教 育 費	6 項	保 健 体 育 費	3 目	体 育 施 設 費	
事業名		体育施設管理費（線越明許費）			No.78	単位：円
事業内容	東日本大震災後方支援助活動により市内体育施設の一般利用が出来ない中、利用が集中し損傷を受けた遠野市民サッカー場B面の改修が必要となった。 平成24年度中に工期が不足したため、工期を延長し事業費を繰り越した。 復旧にあたって運動公園多目的運動広場の表層材であるチャンピオンサンドをB面に転用し活用する。			計画値	改修工事 1件	
	成果	改修工事が完了し、6月から施設の利用を再開した。 遠野市民サッカー場B面改修工事 舗装工（下層路盤工、表層工、表面処理工） 排水構造物 その他附帯工			実績値	改修工事 1件
予算額		決算額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
23,683,000	23,414,250					23,414,250

